

2022年度

助成事業報告集



Kiguchi Foundation
公益財団法人 木口福祉財団

も く じ

● 2022年度助成事業の概要・・・・・・・・・・ P 2

1. 助成事業の趣旨
2. 助成内容
3. 助成予定額
4. 公募
5. 助成対象の選考
6. 選考結果の通知および助成金の交付
7. 対象事業の完了報告

● 2022年度助成対象事業一覧・・・・・・・・・・ P 4

● 選考委員・・・・・・・・・・・・・・・・ P 9 6

2022年度助成事業の概要

1. 助成事業の趣旨

公益財団法人木口福祉財団は、福祉活動やボランティア活動等の事業に対する助成を通じ、市民参加型福祉の促進と地域振興をはかり、障がい者等の社会的に弱い立場におかれている方々にやさしい、明るく住みやすい地域社会の創造に資することを目的としています。

2. 助成内容

地域福祉振興助成

地域福祉振興助成は、障がい者等を支援する福祉活動やボランティア活動に対する助成を通じてやさしく住みやすい地域社会の創造に資する事を目的とします

(1) 対象団体

障がい者や社会的弱者を支援する福祉活動及びボランティア活動に取り組む団体・グループ

(2) 対象事業

- 講演会・講習会・イベント・広報・調査研究・出版の費用
- 工事費
- 器具、備品などの物品購入費用
- 車両購入費用

3. 助成予定額

年間の助成金総額 45,000,000円

4. 公募

(1) 公募案内

助成金公募の案内は、事前に当財団のホームページ、社会福祉協議会の機関誌、その他関係団体の機関誌などを通じて実施し、WEBで公募の受付をしました。

(2) 公募期間

2022年2月1日から3月10日まで

(3) 応募件数

126件

5. 助成対象の選考

(1) 一次選考

すべての申込案件について、4名の選考委員が書類選考を実施しました。

一次選考による結果 82件

(2) 聞き取り調査の実施

一次選考を通過した82件について、6月から7月にかけて聞き取り調査を実施しました。

(3) 最終選考

2022年度の助成対象団体は、選考の結果下記の通り決定しました。

助成件数と助成総額

57件 53,690,000円

6. 選考結果の通知および助成金の交付

(1) 選考結果の通知

すべての申込案件について、選考の結果を書面で通知しました。

(2) 助成金の交付

各団体と「助成金交付に関する確認書」を交わし、振込みで交付しました。

7. 対象事業の完了報告

助成対象事業の完了後、各団体より所定の書式で事業完了報告の提出を受けました。

2022年度 助成対象事業一覧

地域福祉振興助成 講演会・講習会・イベント・広報・調査研究・出版

(大阪府)

P7 特定非営利活動法人さをりひろば

(兵庫県)

P9 特定非営利活動法人性暴力被害者支援センターひょうご

P12 特定非営利活動法人TOPO

P14 特定非営利活動法人あすなろ

地域福祉振興助成 工事

(青森県)

P15 社会福祉法人・花

P17 特定非営利活動法人農楽郷ここ・カラダ

(千葉県)

P19 特定非営利活動法人真ごころ

(岐阜県)

P21 社会福祉法人楽山・杜の会

(大阪府)

P22 特定非営利活動法人あるる

(兵庫県)

P24 特定非営利活動法人みちくさ

P25 一般社団法人さんでーかふえ

P27 特定非営利活動法人神戸ライトハウス

P28 特定非営利活動法人アゲイン

P29 合同会社まあむ

P30 特定非営利活動法人すまいる

P31 特定非営利活動法人朝来どんぐりの会

P33 社会福祉法人でんでん虫の会

(奈良県)

P34 社会福祉法人以和貴会

(岡山県)

P36 特定非営利活動法人ライフデザイン

P37 社会福祉法人手むすびルーム

(鹿児島県)

P38 特定非営利活動法人じゃがいものうち

地域福祉振興助成 物品購入

(富山県)

P40 特定非営利活動法人まいど家

(福井県)

P41 社会福祉法人はこべ福祉会

(長野県)

P42 特定非営利活動法人キッズウィル

(兵庫県)

P44 一般社団法人一圭会

P45 社会福祉法人木の芽福祉会

P46 特定非営利活動法人神戸アイフレンド

P48 特定非営利活動法人フロンティア

P50 一般社団法人順愁会

P52 特定非営利活動法人そよかぜねっと

P54 特定非営利活動法人Comfort you

(岡山県)

P55 特定非営利活動法人笠岡を元気にする会

P56 社会福祉法人吉備路の会

(山口県)

P58 特定非営利活動法人つばさ

(香川県)

P60 特定非営利活動法人手と手と手

(大分県)

P62 社会福祉法人共生荘

地域福祉振興助成 車両購入

(宮城県)

P63 社会福祉法人あいの実

P65 一般社団法人コ・エル

(愛知県)

P66 特定非営利活動法人てのひら

(京都府)

P68 特定非営利活動法人さまさま

P69 一般社団法人子ども発達支援会

P70 社会福祉法人しあわせネットワーク

(大阪府)

P72 一般社団法人福祉総合支援協会

(兵庫県)

P73 株式会社いっぽ

P75 社会福祉法人ひびき福祉会

- P77 特定非営利活動法人来楽輪
- P78 社会福祉法人みのり
- P79 一般社団法人am*am
(奈良県)
- P81 一般社団法人サードプレイス今井
(岡山県)
- P83 特定非営利活動法人すまいるネットワーク
- P84 一般社団法人岡山障害者地域生活支援センター
- P85 特定非営利活動法人じゅ〜く
(香川県)
- P87 一般社団法人ええる福祉会
(福岡県)
- P89 社会福祉法人共生の里
(熊本県)
- P91 特定非営利活動法人熊本福祉会
- P93 特定非営利活動法人阿蘇きぼうの家
(宮崎県)
- P94 特定非営利活動法人うつ予防の会・だんだん

特定非営利活動法人さをりひろば

<https://www.saorihiroba.or.jp/>

【所在地】 大阪府大阪市

【対象者】

身体障がい者、知的障がい者、精神障がい者、
発達障がい者

【日常の活動】

1、さをり織り（※）作家活動

さをり織りをたて糸から立てて、よこ糸も自分の好きに織っていき、仕立ても自分で行い、作品づくりをしている。

2、さをり織り体験工房の運営

さをり織りの体験工房を行い、たて糸や織りの準備をメンバーのお仕事にしています。また、手ほどきもメンバーの仕事です。

3、さをり織りの商品販売

メンバーに織った布を工賃を上乗せして買い上げ、その布で商品を作って、百貨店などの催事や作品展にて販売する。

4、さをり糸製造販売

全国の仲間の人達が使うさをりの糸をメンバーが一部製造工程を担っている。

※さをり織りは、堺の主婦・城みさをが約50年前に始めた手織りのプログラムで、たて糸1本抜けているものを傷と取らず、デザインと評価したことで、どんな織り方もデザインに。障がいは個性であるという発想に合致し、全国の多くの障がいのある作家たちとも共に活動してきた。

「さをり織り作品販売プロジェクト」

【助成額】 40万円

実施目的

私たちの特徴である世界に一つの作品を発表していきたいです。しかし、現状は、職員が手探りで作品づくりを行っています。次の課題は、専門的な縫製のスキルを収得し、作品づくりに生かしていくことで、より信頼性がありながらも、一点物の作品づくりが可能になると考えられます。

実施内容

■2022年9月講習に関する打ち合わせ

■2022年10月～2023年3月 手織り作品製作レベルアップ講習会の実施

毎月1回 合計10回 受講時間 10:00～16:00 受講定員 5名

講師 (株)川崎屋 バックアーティストスクール レブレ

例 バック製造講義 ツマミマチショルダー

バック製造講義 通しマチトート

バック製造講義 リュックサック など



■ 2022年12月 作品発表として、展示会を実施

会場 梅田スカイビル

■ 2022年12月以降 作品を当法人のホームページにて掲載

■ 2023年2月 報告書の作成

得られた 効果



まず、当法人の職員たちの自信につながり、今まで手探りであった状況が、一変した。プロの縫製を学ぶことで、工程の中で省けるところ、押さえないといけないところが整理された。また、必要な部品や消耗品の購入ルートも開拓できたため、間違った部品を購入することはなくなった。

対外的にも、商品の安定性も向上し、多くのイベントなどで、販売機会をいただくことが出来るようになった。SNSでの投稿回数も増え、多くのフォロワーを獲得することになった。

今後の 課題

今後の課題としては、この取り組みを、広報する手段として、現在、SNS、ホームページなどを活用しているが、手づくりやアートが好きな若い利用者の方に、この取り組みを知っていただき、たくさんの方の見学者を獲得したい。

特定非営利活動法人性暴力被害者支援センター・ひょうご

<https://1kobe.jimdofree.com/>

【所在地】 兵庫県尼崎市

【対象者】 性暴力被害者

【日常の活動】

性暴力被害者の直接支援と予防啓発活動を行っている

性暴力に遭った人に寄り添い、本人の意思とペースを尊重しつつ、医療、心理、法律、生活などの必要な支援へつなげること

- ①直接支援事業:電話相談(月～金9時半～16時半)、つきそい支援(連携する病院内での医療つきそい、県弁護士会無料法律相談へのつきそい)、メール相談、心理・医療・法律・生活など支援のコーディネート
- ②支援員養成研修事業:支援員養成講座
- ③予防啓発事業:出前講座・講演、性教育、公開講座などの啓発活動 通信年2回発行
- ④交流連携事業:自助グループとの連携、「性暴力被害者のためバーチャル・ワンストップ支援センターひょうご」ウェブの管理運営

「支援員のスキルアップ研修」

【助成額】 24万円

実施目的

支援員の更なるスキルアップと二次受傷・燃え尽きの防止

実施内容

研修

開催日:2023年3月18日

場所:県立尼崎総合医療センター5階メディカルバースセンターカンファレンス室

参加者:10人

内容:小川真知子さん/NPO法人SEAN理事長を迎え「デジタル性暴力とAV新法について」をテーマに講演していただいた。



事例検討会

①開催日:2023年4月15日

場所:県立尼崎総合医療センター3階メディカルバースセンター実習室 参加者:15人

内容:荻野勝己さん/尼崎市子どもの育ち支援センター 児童相談所設置準備担当参事を講師兼アドバイザーとして招き、「子どもへの性虐待の相談を受けたとき、支援センター・ひょうごができること」について事例をもとに話し合い、講師から子どもへの虐待についての法的内容や通報義務などを伺い知見を深めた。

②開催日：2023年7月15日

場所：県立尼崎総合医療センター3階メディカルバースセンター実習室 参加者：14人

内容：宮崎浩一/臨床心理士、西岡真由美/臨床心理士を講師兼アドバイザーとして招き、「男性からの相談で思い込みや身構える自分をどのようにしたらいいのか」について事例をもとに話し合い、お二人の講師から男性の性被害の不可視性、「男性」とはシスジェンダーでヘテロセクシュアルの男性が想定、ジェンダーとセクシュアリティ規範の問題などのレクチャ相談の実際についてのレクチャを受けた。

支援員のケア

①開催日：2023年1月22日

場所：宝塚市中央公民館 参加者：5人

内容：Wen-Do JAPAN マスターインストラクターの福多唯さんを迎え「女性の護身プログラム」を支援に関わる者を対象に開催した。

②開催日：2023年5月20日

場所：県立尼崎総合医療センター3階メディカルバースセンター実習室

参加者：15人

内容：高濱浩子さん/アーティストのファシリテートにより「みんなでアート トraumainフォームド ケアを体感する」を実施した。



得られた効果

以下のように研修及び事例検討では、新しい知見を得、また、これまで取り組んできたことの重要性を再確認し、相談員として取り組むべき課題を支援員が共有することで、スキルアップすることができた。

研修

近年ICTを使った性暴力被害が、児童を含む若年女性、知的障がい、精神障がいを抱える人たちにも広がっている。その際に使われるグルーミング(てなづけ)の手口の詳細や、性的な画像を送ってほしいと要求することがすでに性暴力であるということを学んだ。

事例検討

①性虐待被害児への接し方を、その子どもに関わる大人にどう伝えるかについて学んだ。

まず支援員には相談者(被害児にかかわる大人)の話を傾聴し、一緒に考えていく姿勢が求められる。そして、相談者に対する情報提供には、当センターができること、当センター以外の社会資源のことだけではなく、性暴力被害に遭った子どもや被害について知らされた大人の心理的なことからも含まれることを再確認した。支援員の役割として、相談者(大人)の困っていることと被害児の困りごとを仕訳けることも大切なことであると学んだ。子どもから相談された時にも「秘密にしてほしい」と言われた時には、「秘密には自分が引き受けられる秘密とそうでない秘密がある」と説明し、「あなたを守ってくれるところに伝えなければならない」と伝えることは子どものその後にとってとても大切であるとアドバイスを受けた。

②男性の性被害相談を受ける際の留意点について講師の研究にもとづき教えていただいた。

支援員は、被害男性が相談しようとするときには、もしかしたら女性被害者以上の困難があり、話すことへの逡巡・話そうとしたときにそのことを表現する言葉がないことなどをわかっておくことが重要であると学んだ。また、支援員にとって話を聞くことに困難を感じる「被害」の確認的描写をする被害者への対応については、性の描写は聞く人の情動をととても揺さぶるので、聞くことに困難を感じても無理はない。

しかし体験を詳細に話す人は、自分にその時何が起きたのかがわからない混乱状態が続いているのかもしれないと認識することで、少し語られていることから距離をとれるかもしれないと教示いただいた。男性の相談は継続することがほぼないので、一回一回の電話の対応が重要とアドバイスを受けた。

セルフケア

以下のように支援員のセルフケア講習を実施でき、日頃の支援から少しはなれ支援員同士が心の底から笑いあえる機会を得たことは大きな癒しの時間で、参加者は大いにリフレッシュできた。

- ①女性の護身術を実際に体験することで、従来のネガティブな発想からポジティブな考え方に変換して行くこと、自分を護るトライアングル（なんか変と思ったら、逃げてもいい、からだで実行）を学んだ。
- ②参加者全員で、大きな部屋の端から端まで届く大きな長い模造紙に妖怪巨人の姿を書いていった。はじめはそれぞれ遠慮があったが少しずつ心がほぐれ、お互いの関わり合いがうまれ、個が集まって全体のハーモニーができ「安心」「楽しい」を実感できた。日々トラウマティックな現場にいることを改めて気づかされ、みんなでケアし合う時間となった。

その他

外部講師を招かず当センター内部で支援の振り返り（困ったケースの共有と対応の検討、電話ケースシート1ヶ月分通覧、こども家庭センター診察依頼に係る医療者との連携、ホットライン対応とチェックシートの活用等）をしたこと、2022年度支援員養成講座のうちコミュニケーションスキルを学ぶ講座(12/17)を支援員も受講したこと、講師/アドバイザーを無料で引き受けてくださったこと(2023/8/19)などで、頂いた助成金の全額を消化することができなかった。しかし、助成金をうけたことによって、ICTを使った性暴力被害、男性の性被害、性虐待など多方面から、これまでになく専門的な講師をお招きすることができ、知見を深め対応スキルに還元していくことができた。また、アートや護身術などを使って支援員同士でセルフケアができる時間をもてたことで、トラウマケア～孤立感の軽減、相互の信頼感の深まりにつながった。

今後の課題

コロナ下で支援員が対面で事例検討会ができなくなったことと1人支援員体制になったことが、これほどまでにスキルや支援の知識に影響を与えてしまうものなのだと痛感してきた。

木口財団の助成を受けることで、継続して、事例検討会や研修と、支援員のケアができ、学び/スキルアップとケアを両輪に進めていくことができた。

今後は、毎月2回の事例検討会もしくは研修と年2回程度支援員のケアを両輪にしたいと考えている。

また2人の支援員の体制になりつつあるので、日々の支援の中で事例検討会や研修で学んだことを、ホットライン対応や医療付添支援に結実させるような仕組みを作っていきたい。

トラウマに接する現場なので、支援員が集まって互いに知識やスキルを深める、孤立感を軽減し相互の信頼を深め合うことをより意識していきたい。

特定非営利活動法人 T O P O

<https://1kobe.jimdofree.com/>

【所在地】 兵庫県西宮市

【対象者】 身体障がい者、知的障がい者

【日常の活動】

【公的資金により運営する事業】

●移動支援事業(Viola) ●移動支援従業者養成研修会

【公的補助を受けない事業】

●水泳クラス『マンターズ選手クラス』『マンターズ中級クラス』『ガーミーズ初級クラス』

●トレーニングクラス『ファイターズ』(基礎トレーニング、エアロビクスダンス、水泳など)

●日帰りイベント(里山トレッキング、調理実習、ハイキング、レクリエーションなど)

●宿泊イベント『自閉症サポートキャンプ』『水泳合宿』 ●季節のイベント(餅つき、クリスマス会、いちご狩りなど)

「自閉症のための絵本と冊子の作成」

【助成額】 51万円

実施目的

自閉症の障がい特性を、楽しくわかりやすく表現した絵本や冊子を作成し、子供から大人まで多くの人に共感してもらう。

実施内容

【自閉症キャラクター絵本、冊子作成とフリマ出展の準備】

9月25日の『文学フリマ』出品に向けて当法人代表平井亜也が絵本の構想、作成に入る。

カタピラグラフィックスオフィスデザイナー吉岡暁との打合せを経て5月末までにイラストと豆本を入稿→印刷
代表平井亜也が冊子(サポートブック)の構想、作成に入る。

カタピラグラフィックスオフィスデザイナー吉岡暁との打合せを経てイラストと豆本を7月末までに入稿→印刷
同時期に代表平井亜也が『文学フリマ』で本と一緒に出品する※自閉症ヘルプマークと革キーホルダー(補充分)を仕上げる。

9月より当日『文学フリマ』のブースに置く絵本、冊子、イベント後自閉症キャラクターのグッズ、Tシャツなどを準備、足りないものは作成、発注。

『文学フリマ』当日9月25日、ブースを訪問し希望された方には絵本冊子をお渡しした。

得られた効果

文学フリマの出店時に冊子などを配り、福祉業界の人だけでなく多くの人に自閉症のことを知ってもらえた。出店ブースに立ち寄り、自閉症の人への支援のし方を聞いてこられる方や当事者の方も足を止め絵本に興味を示してくれるなど、思った以上の反応があった。オンラインの本屋さんとも会えることができ、絵本や冊子を紹介してもらえた。

今後もより多くの人に自閉症支援に関心を持ってもらえるように、もっくんというキャラクターを紹介する機会を作り、絵本の続編の作成やオリジナルヘルプマークの広まりを目指し、知的障害者や自閉症の人がより暮らしやすい社会づくりに貢献していきたい。

特定非営利活動法人あすなろ

<http://npo-asunaro.org>

【所在地】 兵庫県三田市

【対象者】 精神障がい者

【日常の活動】

就労継続支援B型(新鮮組)・・・畑作業を通して就労へ向けた訓練をしている。

一般相談支援事業・・・主に精神科病院からの地域移行支援をピアサポーターと一緒に実施している。

特定相談支援事業・・・福祉サービス利用のためのプラン作成。

自立生活援助・・・福祉サービスにつながるまでの生活支援。

訪問看護・・・精神科を中心とした訪問看護。

「精神障がい者地域移行推進ガイドブックの作成」

【助成額】 16万円

実施目的

精神科病院からの地域移行については、病院職員への啓発、入院中の患者さんへの意欲喚起などが必要で、病院で行う地域生活報告会、事業所体験プログラム、退院動機づけ支援等に有効に活用するため。また地域のセンターやクリニックにも置いてもらうことで、地域で生活する精神障害の当事者の方々にも活用してもらうため。

実施内容

精神科病院での患者さん、職員向け地域生活報告会、入院患者さん向けの事業所体験プログラム、退院動機づけ支援などの各場所において活用。

具体的には活動を担うピアサポーターから説明し、ご本人が退院に向けて意欲喚起ができるように支援すること。

得られた効果

長期入院者の方には意欲喚起に役立ち、地域で生活する当事者にとってもピアサポーターのリカバリーストーリーは生きていくうえでの励みとなる。

今後の課題

冊子を見ていただくことで、私たちの思いを理解してもらうことは勿論、地域とのつながりを強化して地域共生の一助になりたい。職員、利用者ともに地域の生活者として、地域の方との交流を積極的にしていきたい。



【所在地】 青森県弘前市

【対象者】 精神障がい者

【日常の活動】

市内中心部にある就労継続支援B型事業所として、日々生産活動の機会の提供、各種相談支援を実施しています。市内を走るバスの停留所が建物前にあるほか、弘前駅からも近いため、周辺市町村からの通所者も多くおります。主な事業内容は、自主製品の「金魚ねぶた」製造販売とリサイクル活動が中心です。金魚ねぶたは、土産物として市内の観光施設等で販売しています。リサイクル活動は、市内の皆様から提供していただいた古着や小物を、事業所併設のリサイクルショップで販売しています。穴あきなどそのまま販売できない物は工業用ウエスとして加工し、インターネットで全国的に販売しています。利用者支援としては、個々の事情に合った利用日数や作業時間で受け入れ生産活動を実施、各種相談や関係機関との連絡調整、企業等の見学も実施しています。

「男女別トイレの改修工事」

【助成額】 63万円

実施目的

誰もが通所しやすい事業所の快適な環境づくりの一環として、日々誰もが使用するトイレを和式から洋式へ改修する。

実施内容

男女別トイレの洋式トイレ化

1. 2F女子トイレ改修工事

撤去タイル補修工事

排水設備工事

器具設置工事 TOTO QR SH232BA 一式

大工工事

電気工事

諸経費

2. 2F男子トイレ改修工事

撤去タイル補修工事

排水設備工事

器具設置工事 TOTO QR SH232BA 一式

大工工事

電気工事

諸経費



得られた 効果

年々利用者の高齢化が進み、トイレの負担が課題となっていたほか、トイレの設備も老朽化していました。利用者の皆さんからは「トイレでの立ち上がりが楽になった」、「衛生的になってよかった」等の意見があり、足腰に負担がかかるのがつらい利用者が心配なく、快適に日中活動を行うことができるようになりました。また事業所見学の際、洋式トイレでないことが原因で体験実習に進むことができないケースが多く、今回の洋式トイレ化は事業経営する上でもとても重要なファクタになっており、今回の助成の効果は絶大でとても感謝しております。

今後の 課題

今回助成を頂きましたトイレを長く大切に活用していきたいと考えております。今回の整備をきっかけに、適切な清掃方法のほか、衛生状態を維持するための運用を見直すきっかけになりました。

また、各職員がトイレ以外の設備についても目を向けるきっかけになり、利用者が事業所で快適に過ごせるように、今後も各設備の中長期での工事や交換を適宜行っていく必要性を認識するようになりました。

引き続き利用者のフィードバックやニーズも踏まえて、活動環境を見直し、改善を行っていきます。

特定非営利活動法人農楽郷ここ・カラダ

<https://nougakkou.jp/>

【所在地】 青森県十和田市

【対象者】

身体障がい者、知的障がい者、精神障がい者、
発達障がい者

【日常の活動】

私たちは開設当初より、ブルーベリーの栽培を行いつつ、耕作放棄された農地等の開墾活動を実施、畑へと再生しその畑に、にんにくや大豆等を栽培、生産した作物を活用した六次化産品を販売し、就労工賃として事業所の運営を行っております。

にんにくは乾燥させ、皮を整形したホワイトにんにく、一球、バラ、熟成させて加工した黒にんにく、乾燥チップ、にんにくパウダー等の製品を製造しています。

昨年度より、にんにくの連作障害防止をはかるためにさつま芋を栽培し、焼き芋や乾燥芋を作って販路を拡大中です。その他、アスパラガスや浅つき、野菜等を栽培し道の駅や全国のお客様へ発送等行い活動を評価されております。

私たちの基本理念は自然との共存共栄であります。太陽と緑の大地、自然をこよなく愛し皆の住む地域で、明るく健康で生き生きと暮らせる社会づくりを目標に、農作業と魅力ある製品づくりを展開する事業です。

「畑作業用屋外(内)トイレの設置工事」

【助成額】 100万円

実施目的

屋外作業用のトイレがなく、畑から車での移動が必要で利用者が不便をしており、就労環境と衛生環境の改善を図る為、作業用トイレの設備をしようとする目的です。

実施内容

◇工事

作業時に利用者の皆さんが利用するトイレの整備を行う事業です。

現在、作業に利用する作業所の一室を男女別室に区切り、水洗化、ウォシュレット、ヒーター付き付の水洗トイレ便器を整備しました。作業所付近に下水配管も敷設が確認され、上下水道の整備によりより衛生的なトイレとして整備が出来ました。土間から基礎工事、上下水道工事、電気工事と諸物価高騰の中にあって、地元の施工業者様から利用者の為という事で頑張ってもらって工事を受けていただきました。

若干、当初の見積額より上澄みとなりましたが本当に丁寧に、利用者の皆さんが使いやすく安全な整備を行っていただきました。

畑からの出入りを考慮して、床はコンクリート。トイレ設備の操作はリモコンスイッチ。使い勝手の良いボタン式となっています。



得られた 効果

本事業の申請時は、ポンプ式簡易水洗汲みとり式トイレと付帯工事の事業でしたが、物流の混乱や物価高騰による資材、工事業者の施行困難事例が発生。貴財団に相談申し上げ、汲み取り式から水洗トイレ、屋外から作業所内へ又、施工事業者の変更を了解の上で推進しております。

畑からトイレをすませる為に車で事務所まで戻る必要が無くなり、作業時間の大幅な効率化がはかられます。そしてなによりも、遠慮をせずにトイレをすませることが出来る。

コロナ過にあって、感染予防、衛生環境の充実が求められる中、畑作業の効率化、利用者のトイレと言う身体的及び精神面の安定、生き生きと就労に取組めることから本事業の成果が発揮されるものです。するものと思います。利用者の皆さんは清潔でより快適、腰の弱い者にも優しい、ウォシュレット付の水洗トイレの整備は効果絶大と利用者から喜ばれております。

今後の 課題

本事業により、就労訓練に励む利用者の就労環境は飛躍的に改善され、いちいち、車での移動もなくなり就労に集中できる環境と、衛生的な排せつ、排尿が出来る事から心身のストレスもなくなります。

今後この環境を維持しつつ、作業の能率アップをはかりながら収穫物や加工農産物を多く生み出し、平均工賃を上げていくことが課題となります。今はにんにくが主なる作物ですが、新たに、さつま芋の作付けも行い、新たな収益作物として期待をし、焼き芋や干し芋づくりを、作業所を活用して事業展開していきたいと考えています。

特定非営利活動法人真ごころ

<https://npomagokoro430.wixsite.com/mysite>

【所在地】 千葉県柏市

【対象者】 知的障がい者、精神障がい者、発達障がい者

【日常の活動】

まごころデイスポーツで日常的に実施する事業

【水耕栽培】

天候に左右されず、一定の工程の作業内容で、働きやすく心身共に負担の無い仕事です。また、収穫した野菜を納品、販売することで社会参加をし、住み慣れた地域で社会とのつながりを持つことができています。

【運動支援】

当法人所有のプールを使用して、水泳で運動不足の解消をし、リラックス効果を得て、心身共に健康維持に努めています。

【さをり織り】

織れば織るほど自分らしい表現が磨かれていき、言葉の表出や伝えられない思いなどを表現でき、自己実現ができています。自身が紡いだ、さをり織りが商品となり販売されることで働く喜びを実感でき、色彩豊かな柔らかい糸に触れ、心穏やかに、織り機の一定の同じ動作で負担なく本人のペースでできる作業となっています。

【軽作業】

手先を使ったオリジナル商品の制作作業をしています。

【身辺自立支援】

生活するうえで必要な自身の身の回りのことが、しっかりとできるように支援しています。

「男女別更衣室の設置工事」

【助成額】 100万円

実施目的

衣服の着脱や整容の習得や更衣する場所をわかまえる学習、プライバシーの保護をするために男女別更衣室の設置を行った。

実施内容

広い倉庫内の半分程度に水耕栽培ハウスが設置されています。その半分の1/2のスペースに男女別更衣室を設置しました。更衣室入り口は色分けをして男子は青のドア・女子は赤のドアを取り付け、視覚的にも理解できるように工夫しました。不快な温度（暑すぎることや寒すぎること）の中では心身ともに不安定になるので、更衣室内にクーラーを取り付け、夏の暑い時にも冬の寒い時にも快適に着替え等ができるように整備しました。



得られた 効果

- ・登所や降所の際に荷物の整理や衣類の整理をする習慣が整いました。
- ・身だしなみを整える時にゆっくりと自分のペースで行う環境が整いました。
- ・知的に重度の利用者の方の介助の場所がしっかりと確保できました。
- ・プライバシーが保護され、利用者本人の尊厳が守られています。
- ・身辺自立や整容をする意識が高くなりました。さらに日常生活のQOLの向上が期待できます。

今後の 課題

- ・利用者の増員や保護者のニーズに合わせた、環境づくりや整備が課題です。
 - ①利用者の増加により、送迎車両の増車
 - ②保護者からは開所時間の延長希望があり、それに伴う人員の確保が必要です。
 - ③24時間稼働している水耕栽培の水光熱費を補うため、太陽光発電機の設置。

【所在地】 岐阜県海津市

【対象者】 知的障がい者、精神障がい者、発達障がい者

【日常の活動】

就労移行支援と就労継続支援B型の通所就労施設として活動。

養鶏による卵の販売とその卵を使ったプリンとクッキーの製造販売。

よもぎを自家栽培し、草餅の製造販売、草餅の配達、対面販売を作業として行う。

よもぎは、草餅だけでなく「入浴用よもぎ」として加工し、製造販売を行う。

よもぎを自家栽培するため、近隣の畑を借りてよもぎの栽培をしている。そのよもぎ畑の草取りやよもぎの収穫作業も行う。

自社データのパソコン入力、食事の調理、用意、軽作業として企業6社からの下請け作業を行う。

大学や図書館から寄贈いただいた古本のネット販売も行う。

「よもぎ乾燥室の建設」

【助成額】 100万円

実施目的

よもぎ乾燥室を建設し、「入浴用よもぎ」の生産拡大を図る。
現在、乾燥室が1室のため、乾燥が追い付かず、新たに
一室設けることで生産数を大幅に増やす。

実施内容

◇イナバ物置(イナバSMK-90HN)の購入、設置。
よもぎ工房の東隣によもぎ乾燥室として使用する。
上記を配置するにあたり下地整備・エアコン、照明の電気工事を行う。

得られた効果

今までは、茹でたよもぎをよもぎ工房から歩いて3分ほどの楽山・杜の会本館にある乾燥室に持って行き乾燥していたが、今回の乾燥室は、よもぎ工房のすぐ横に設置されたため、動線が大変スムーズとなって管理もしやすくなった。また、乾燥室が1室増えたことで、よもぎの乾燥量が大幅にアップし、「入浴用よもぎ」の生産数を大幅に増やすことができた。専用の乾燥室のため、優れた衛生環境が確保でき、品質向上にもつながった。

今後の課題

今まで他社から購入していた乾燥カモミールの花などを、今回の乾燥室で実施すれば、カモミールの花の栽培～乾燥までが行える。他にもラベンダーを乾燥させて、「ラベンダー入り入浴用よもぎ」を新商品として発売したい。



特定非営利活動法人あるる

<https://www.npo-aruru.com/>

【所在地】 大阪府大阪市

【対象者】

身体障がい者、知的障がい者、精神障がい者、
発達障がい者

【日常の活動】

- ◆居宅介護事業・重度訪問介護事業・移動支援事業 ◆生活介護事業
- ◆障害者相談支援事業（委託相談支援・計画相談・一般相談） ◆障害者自立生活プログラム
- ◆地域の学校への福祉教育 ◆区内のバリアフリー調査 ◆大学生ボランティアとの交流取り組み

「多機能トイレの改修工事」

【助成額】 40万円

実施目的

当法人の運営するセンターでは、様々な障害のある方々が利用される。そのため、トイレに関しては車いす使用者の方も介助者を入れる十分なスペースを確保し、手すりやウォシュレットもつけているが、設置後15年経つためウォシュレットの老朽化により取り換えが必要である。また、ストマー（人工肛門）増設の利用者が複数名おられるため、センターで快適に過ごしていただくためにも新たにオストメイトの設置が必要であり、取り付け工事を行いたい。

実施内容

当法人内の1階にあるトイレに
オストメイトを設置する。そのために以下の取り付け工事を行う。

- ・既存洗面器、化粧棚撤去
- ・既存床削り
- ・給排水仕込桝加工
- ・オストメイト本体、化粧棚購入 各種備品設置
- ・電気温水器1.5L購入
- ・配管接続工事
- ・床一部防滑シート施工

ウォシュレットの取り換えを行う。

- ・便座、ウォシュレット購入
- ・取り換え作業



得られた効果

オストメイト設置

人工肛門(ストマー)を造設されている利用者の方は、今までオストメイトのない当事業所のトイレでは、便器に排泄物を流した後、洗浄のために洗面台と便器の間を往復し使用していた。そういった作業は周囲を汚してしまわないかなど、かなり気を遣う必要があり、時間と手間がかかった。しかし、今回オストメイトを設置したことで、これまでと比べ圧倒的に作業が容易になり、それらの煩わしさが解消された。オストメイト対応の流し台は、排泄物の処理と洗浄を一か所で行うことができ、さらにシャワーを使用することができるため洗浄がかなりスムーズに行えるようになった。さらに温水が出るようになったため、これまでできなかった腹部の洗浄もできるようになり、安心して日中が過ごせるようになったとの声が上がっている。

ウォシュレットの取り換え

ウォシュレットの劣化により洗浄ボタンが使えなくなっていたため、今まで車いすと便器間の移乗以外のご自身で行っていた方が自分でトイレを流すことができなくなっていた。トイレには洗浄レバーもあるが、障害特性上使えない利用者も多く、故障してからしばらくの間は介助者がトイレを流すようにしていたため利用者にとってはかなりのストレスであった。ウォシュレットの取り換え工事後は『やっとボタンが使える！』と喜ばれている利用者がたくさんおられ、利用者自身が快適にトイレを利用することができるようになり非常にうれしく感じている。

今後の課題

どんなに重い障がいがあっても、障がい者が地域で介助を使いながら自身の生活を自己選択、自己決定し、自立した生活が送れるよう推し進めてきた。そのためには地域の方の理解や協力が欠かせないが、相談業務や地域のバリアフリー調査など事業を運営する上で、それらがまだまだ不十分であることを感じる場面も多かった。今後も、福祉教育や地域で行われるイベントへの参加など、地域との関わりを広げていく取り組みを続けていくとともに、私たちが参加するだけでなく、地域の方にも参加していただき、興味を持っていただけるような取り組みも実施していきたい。そのためにもまずは、誰もが利用しやすい施設を整え、障害の有無に関わらず手を取り合い協力して地域とともに活動を進めていく事業所を目指したい。

特定非営利活動法人みちくさ

【所在地】 兵庫県丹波篠山市

【対象者】 身体障がい者、知的障がい者、精神障がい者

【日常の活動】

当法人が運営する喫茶、地域の工場の内職作業（衛生用品の箱詰め、ロウソクの箱詰め及び箱折、釣り具針作成、ワームの箱詰作業等）、市、学校、地域事業所からの注文によるTシャツ等の印刷、及び古紙回収等の作業をしています。地域と通所者の交流を行いながら得られる作業賃金で通所者の工賃を支払いしています。

「施設の改修工事」

【助成額】 14万円

実施目的

作業所の照明器具の修繕及びベランダの修繕

実施内容

作業所蛍光灯照度アップ改修工事を実施した
2階バルコニーの波板テラス屋根張替

得られた効果

テラスの屋根の張替を行ったことにより通所者の昼寝用布団シーツの洗濯や汚れた着替え等の洗濯物を干す場所の確保ができた。
作業所の蛍光灯照度アップにより、作業手元が明るくなり効率が良くなった。また、LED照明にしたことにより消費電力が抑えられ電力不足による照明のちらつきがなくなった。

今後の課題

通所者の衛生面での援助

当事業の照度アップを通じて作業効率や消費電力の抑制で事業所としての一定の効果は得られるが、今後は、通所者の作業に対する意欲、能力アップに繋がりたい。



【所在地】 兵庫県神戸市

【対象者】

身体障がい者、知的障がい者、精神障がい者、
発達障がい者

【日常の活動】

《作業》

内職作業、お米の精米、小分作業、野菜・米・リサイクル品等の販売

自主製品製作(米袋のエコバック、ダスター、小物類の製作)

自治会内神社・墓地の清掃作業、畑作業(西宮鷲林寺)

《レクリエーション他》

ミーティング(毎月1回)、英会話教室(月3回)、お誕生会(2か月毎)、遠足(年2回)、クリスマス会

《創作活動》

手芸教室(月1回)、雑貨類の商品開発

「トイレの改修工事」

【助成額】 51万円

実施目的

トイレが未更新で和式の老朽化したトイレでした。このトイレを洋式に更新し、床も清掃し易いようにして清潔で使い易いトイレにする。

実施内容

1. 既存トイレ撤去工事
2. シャワー付き洋式トイレ設置工事
3. 付帯水道配管工事
4. 土間下地工事、壁面タイル(一部)張替工事
5. 床面シート張り工事
6. 電気コンセント設置工事

得られた効果

1. 清潔なトイレになったので、皆が気持ちよく使用できるようになりました。
2. 床面がタイル貼りからシート張りになったのとシャワー付き洋式トイレになったので、汚れにくく清掃が楽になりました。
3. 言葉をうまく発する事ができずコミュニケーションの取りにくい高次機能障害の利用者の方が改修前のトイレでは長い時間トイレに入っておられました。この時は周りの環境での刺激をクールダウンするためかと思っていました。しかし、トイレ改修後に自分で手の届く場所に尿パッドを置く棚を設置する事ができた事で、こまめにご自身で尿パッドを交換できるようになったことから、トイレに入っている時間が短くなり、以前よりも落ち着いて過ごされるようになったように感じています。今回のトイレの改修が綺麗好きのこの方にとって快適に過ごせる事に繋がったのは大きな成果と思っています。

私たちは社会と繋がり難い方を社会と繋がり地域で安心して暮らせる事を大切にしています。現在弊所は所謂作業所なので、利用者の方の日常生活全てサポートできませんが、日々支援していると自立した生活をしていくための課題が見えて来ます。それに対して福祉や医療サービスに繋がろうとしますが、繋ぐ役目の相談支援事業所のマンパワーが圧倒的に足りない事や今の相談支援事業の内容が限定的等十分とは言えません。

このため、制度と制度の間にある問題点に対してもワンストップ受け、連携して幅広く支援できるように目指して行きたいと考えていますが、それを実行して行くために

- ①制度の間にある問題に対してもきちんと報酬を出し、動ける人材を作るためにも先ずは現在のB型事業を広げること。
- ②B型事業を広げるためには利用者により良いサービスを提供し、安心して過ごせる環境を整えること。
- ③今後相談支援事業所や訪問看護ステーションの事業展開も検討する。
- ④我々の理念に共感してくれる若い人材を雇用・育成して行くこと。
- ⑤収益を上げる事が目的ではなく、社会と繋がり難い方を社会と繋がり地域で安心して暮らせるようにして行く事が目的である事を忘れないようにすること。

こうした事業展開をして行くためにも本助成金を今後も必要に応じて活用させていただきたいと考えます。



特定非営利活動法人神戸ライトハウス

<https://kobelighthouse.jp/>

【所在地】 兵庫県神戸市

【対象者】 知的障がい者、発達障がい者

【日常の活動】

障害児通所事業

障害児通所支援事業は、障害のある児童や発達に心配がある児童に、療育を提供する事業です。弊法人ではその中でも「児童発達支援」と「放課後等デイサービス」を行っています。

児童発達支援は、日常生活における基本的な動作を習得したり、集団生活に適応するための訓練など個別の療育プログラムを個別支援計画に基づき提供します。未就学の障害児および学籍のない18歳未満の障害児が対象です。

放課後等デイサービスは、学校授業終了後または休業日に、生活能力の向上のために必要な支援や余暇の提供などを個別支援計画に基づき提供します。学校教育法に規定する学校（幼稚園、大学を除く）に就学している障害児が対象です。

「トイレの改修工事」

【助成額】 100万円

実施目的

トイレが古く汚いため、通所した児童たちが排便を控えたりする可能性がございます。
児童が安心して通所できる放課後等児童デイサービスを運営したいということが目的です。

実施内容

トイレの改修工事を行いました。

得られた効果

トイレがきれいになっただけでなく、明るい雰囲気になったため児童たちが排便を控えたりすることがなくなりました。

また、新たに体験に来た児童たちもきれいなトイレを見て安心しております。

保護者様からも高い評価を得ており、通所する児童の数も増加傾向にあるため、よかったです。

今後の課題

安定した児童の利用と安全の確保

設備面ではトイレの改装を行ったことで、ハード面での問題は解消された。

安定した児童の利用を維持していけるよう、児童や保護者にとって魅力的なプログラムの実施と利用中に事故が起きないように、安全の確保が課題である。

特定非営利活動法人アゲイン

<http://www.again-kobe.com>

【所在地】 兵庫県神戸市

【対象者】 知的障がい者、精神障がい者、発達障がい者

【日常の活動】

指定障害福祉サービス事業として、就労継続支援B型事業を行っております。主な活動内容としては、兵庫県神戸市内にある農場（約4ha）にて野菜・米の生産、出荷、販売をメインに行っております。

また、2019年7月には事業所内に直売所「アゲインマート」を開店し、栽培した野菜・米を販売し、同時に地元近隣農家の作物も販売していく事で、近隣とのつながりも深くなってきました。

「農業用ビニールハウスの改修工事」

【助成額】 100万円

実施目的

冬場に夏野菜の栽培を行えるようにするため

実施内容

神戸市西区平野町印路にある当法人農場のビニールハウスにて、暖房用のボイラーを設置し、冬場に夏野菜を栽培し、売上をアップさせ、利用者の工賃に反映させようと考えました。

ただ、ボイラーを使用した場合にかかる燃料代が膨大となるため、その対策として、ビニールハウスの内側にもう一重ビニールを施す工事を行いました。

得られた効果

冬場に夏野菜を栽培できるようになった。また、先に述べましたが、ボイラーを使用する事によってかなりの燃料を消費しますが、工事を施したことによりコストカットが図れました。

今後の課題

夏野菜の栽培技術を今まで以上に高め、量産する努力を継続していく事と、レストラン、直売所、スーパー等の販売先の確保が課題であります。



【所在地】 兵庫県姫路市

【対象者】 身体障がい者、精神障がい者

【日常の活動】

障害者総合支援法に基づく事業

障害のある方々が一軒家(定員4名)で営む共同生活をサポートします。主に夜間の食事や入浴・排泄など必要に応じた援助や介助を行います。世話人や生活支援員が利用者様の食事準備やお風呂、トイレなど日常生活の援助を提供します。

「トイレの改修工事」

【助成額】 51万円

実施目的

トイレの増設をし、利用者さんの環境整備を行い、感染症対策や利用者さん職員の介助の際の負担軽減を図る。

実施内容

1階 南西の縁側を改修しトイレを増築。

工事内容

12月2日～12月4日 給排水設置工事・建築工事

12月5日～12月7日 建築工事・電気工事

12月8日 設備工事



得られた効果

朝の時間帯には混雑することがあり、利用者の方に理不尽な我慢をして頂くことがありました。トイレを増設することで、朝の混雑が解消しや感染症対策等も図れています。利用者さんも安心しておられます。バリアフリー化しスペースも広くなり、ウォシュレットもあり清潔保持ができています。トイレの使用時間が長い利用者さんを急がせることもなくなりました。また、介助が必要な方への介護負担の軽減が図れています。

今後の課題

現在3名の利用者様が利用され、あと1名の入居で定員が埋まる予定です。問い合わせはあり体験利用を重ね、ご本人の希望する生活の把握や他利用者様との共同生活が問題ないかなど状況をみています。開所から8ヶ月が過ぎ、利用者様にとって安心して過ごせる居場所となっております。職員も利用者様との信頼関係が築け、利用者様の気持ちに寄り添いながら「少し頑張れる」気持ちになって頂ける支援が出来るようになっております。職員の知識や判断力、対応力も向上しています。ご家族様や他事業所さんから「れ～るさんを信頼しています」というお言葉を頂戴し、少しずつですが当事業所への信頼を得ることができています。年度内に定員が満床予定です。運営が安定し職員の確保、育成を図り2棟目のグループホームを開設し重度の受け入れを目指しています。

特定非営利活動法人すまいる

【所在地】 兵庫県西脇市

【対象者】 知的障がい者、精神障がい者

【日常の活動】

■カフェでお客様の接待（挨拶、お水を出し、注文をとり、厨房に通す、食事を運ぶ、後片付けをする）

■厨房作業（食器の配置、ご飯やみそ汁を入れる、サラダを盛り付けるなど） ■清掃

■内職 ■老人保健施設へお弁当の配達 ■道の駅、市民病院の売店、図書館へ菓子パンの配達

「倉庫の設置工事」

【助成額】 93万円

実施目的

- カフェと主に内職作業をしている第2作業所に隣接して倉庫を設置し、導線を考え環境を整えることで、利用者・従業員が共に安全にゆったり働ける場を確保する
- 通路は砂利を舗装しテラス屋根をつけることで、内職やパン・お弁当を台車で搬送し作業効率を上げ、利用者の安全性・快適性を向上させる



実施内容

- 倉庫の設置（内職作業をしている第二作業所の横）
中にはイベントのときに使用する調理器具や物品、消耗品の在庫などを置くことができた
- 通路の舗装工事とテラス工事
利用者、従業員が通る通路は砂利からセメントに工事し、テラス屋根を設置してもらった



得られた効果

- 倉庫の設置により、物が整理でき作業スペースを広げ環境を整備し、安全にゆったり働ける場が確保できた
- 通路をセメントにすることで台車が使用でき、仕事効率が上がった
- セメント舗装と一部に屋根をつけることで利用者・従業員の安全性、快適性が向上した

今後の課題

今回助成を受けた事業により、就業環境を大幅に改善できた。また、仕事効率が上がり利用者・従業員の安全性が向上したが、利用者が急激に増加したため、まだ手狭な状態は否めない現状です。敷地内だけでは限界があり、今後更なる場所の確保を考慮していかなければならないと考えています。

特定非営利活動法人朝来どんぐりの会

<https://asago-dongurinokai.jimdofree.com>

【所在地】 兵庫県朝来市

【対象者】 引きこもり当事者とその家族

【日常の活動】

不登校・ひきこもり者の相談支援事業

1. 相談事業…電話相談、来所相談、家庭訪問

2. 当事者の交流体験事業…自立を目指したお料理会、月1回第2木曜日

居場所サロン、毎週月・火・木・金・土曜日11時～15時

お出かけ体験、月1回第4木曜日(基本)

3. ひきこもり者の家族の交流と研修会…親の会(講演会)年2回、6月と11月

親のサロン、月1回第3土曜日13時～15時

「トイレの改修工事」

【助成額】 69万円

実施目的

私たちがひきこもり支援活動を充実して取り組んでいくためには、朝来どんぐりの会の「居場所」が必要不可欠であり、どうにか令和3年10月に居場所を開設することが出来た。これから更に「居場所」を活動の拠点として展開していくには、利用者にとって居心地の良い快適な場所として環境整備していく必要がある。現在、その衛生面での基本となるトイレが「汲み取り式」であり、不快を感じながらの使用となっている。また下排水設備が整っていないために台所の排水は側溝に流れている。早急にこの2点「水洗トイレ改修工事と下排水工事」に取り組む必要があり、快適な居場所づくりを実現させたい。

実施内容

トイレの改修工事と下排水工事

工事名…山東町大垣 居場所排水設備新設、トイレ水洗化、流し台取替工事

業者名…プラミングワークKotani(給排水衛生設備工事業)

工事内容

- ①下水配管工事:建物前の下水公共桝とトイレの汚水排水管をつなげる。
 - ②トイレ改修工事:トイレ内の便器を取り除く。汲み取り式の便槽の内部を埋める。新しい水洗式便器を取り付ける。トイレ出口の手洗い器を外す。
 - ③流し台取替工事:古い流し台とコンロ台を取り除き廃棄する。新しい流し台とコンロ台を取り付ける。
 - ④下水道配管工事:調理場から出る排水の配管と調理時の油用分離桝を設置し、下水道設備工事を完了する。
- * 9月に予定通り工事に着工したが、助成金決定後の発注となるため依頼業者の繁忙期と重なり、また居場所の休日に合わせての工事となったために、①の工事は9月、②の工事は10月、③と④の工事は11月となった。

確認申請:9月1日

完了検査:11月30日、朝来市下水道課

得られた効果

助成金をいただくことが出来、設備面の工事が完了し、居場所として快適で安心安全な空間にすることが出来ました。

トイレが水洗式になり、安心して当事者や相談者を招くことが出来るようになりました。「これまでは我慢していたの。トイレが水洗になり良かった。」という利用者さんの正直な声も聞かれました。調理台も新しくなり気持ちよくお料理会に取り組みます。そして下水道設備が完備したことにより気兼ねなく水を流すことが出来るようになりました。

今年度初めてクリスマス会を開催しました。コロナ禍であるため開催には懸念する声もありましたが、新しくなったトイレやキッチンをお披露目したい目的もあり、対策を十分にとり(マスク、消毒、換気)実施しました。参加者は当事者4名・家族等3名・スタッフ7名の計14名で、みんなで協力してお料理やケーキを作りました。楽しく会食をし、そのあと歌を歌ったりビンゴゲームをしたり和やかに楽しい会となりました。これは、この度のトイレの水洗化と下排水工事、流し台の取替工事が出来ていなければ実施できない行事でした。事業実施による大きな成果であったと考えます。

今後の課題

居場所「どんぐりの家」は衛生面での環境改善は本事業により完備できました。しかし居場所としての環境・設備面の課題はあります。部屋の天井・照明・壁面や外壁など不十分な点は沢山ありますが、それら環境整備は長期の課題と考えています。今後、私たちの会に求められている一番の課題は居場所を拠点とした更なる活動の充実です。日々取り組んでいく中で、まだ繋がっていないひきこもりの人や悩んでおられる家族の方が大勢おられると肌で感じています。一人でも多くの方と繋がり、声を聴き悩みを共有し寄り添った支援をしていきたい。そのためには、居場所の機能をさらに拡充していくこと、スタッフの研修を充実させることなど出来ることは沢山あります。居場所を拠点として一步一步地道に取り組み充実した活動を長く続けていきたいと考えています。



【所在地】 兵庫県加東市

【対象者】 知的障がい者

【日常の活動】

・障害者総合支援法に基づく事業

就労継続支援B型事業所の運営

自主製品の製造販売（パン・クッキー） 内職作業（箱の成型・商品のラベル貼り等）

清掃作業（市内寺院・加東市浄水場5カ所等） 施設外就労（ネギの調整作業・出荷箱の成型）

山田錦プロジェクトへの参加

「パン工房エアコンの改修工事」

【助成額】 67万円

実施目的

活動しやすい作業環境の維持を行う

実施内容

◇パン工房カラコルのエアコン改修工事

老朽化したパッケージエアコン1台の取替工事を実施

得られた効果

夏場の室温上昇だけでなく、冬場の底冷え等、季節を問わず快適に利用者さんが作業をすることができております。

空調の効きが弱く不快感がなくなったことにより作業意欲が保たれ、作業効率も改善されました。

また老朽化による故障の不安も解消されました。

今後の課題

パン工房を開設し10年以上が経ってきており、他にも老朽化してきている機器や設備が増えてきているのが現状です。工賃確保を維持するとともに、設備改修に関する資金の工面を行っていくことが課題だと感じています。またパンやクッキーについては、店舗での販売を主としてきましたが、地域の高齢化といった実情に対応していくため、今後は移動販売にも取り組んでいきたいと考えています。



【所在地】 奈良県香芝市

【対象者】 知的障がい者、発達障がい者

【日常の活動】

発達年齢に応じた自立課題及び作業課題の提供。

実年齢も加味して、小学生の児童については学習支援に重点を置いた課題や取り組みを提供しており、中高生については将来に向けた自立支援として内職や清掃等の訓練及び調理活動や公共交通機関の利用方法、清潔保持等の支援を行っている。

また、学校の宿題がある児童については職員が見守りながら取り組んでいる。

買い物訓練も実施しており、おやつや昼食を購入する店をスタッフの見守りのもと児童同士で話し合い、行き先を決めた上でレジでの金銭授受の流れなどが学べるように取り組んでいる。

その他、運動専用の部屋で体幹を鍛える活動や、集団でのレクリエーション活動も実施している。

「児童用シャワールームの設置工事」

【助成額】 100万円

実施目的

ご利用児童の清潔保持のための支援の提供。

また、洗身洗髪の実施等を実施し、将来に向けた自立支援を行うため。

実施内容

洗面・シャワールーム新設工事

【仮設・解体工事】 壁下地・天井等一部撤去

【大工工事】 壁増設(洗面所・シャワールーム)

【電気工事】 既設機器撤去・配線処理工事、各種配線工事

【設備工事】 シャワーユニット設置工事、洗面化粧台設置工事、洗面化粧台給排水配管接続工事

【給湯器設置工事】 ガス給湯器設置工事、ガス給湯器給排水配管接続工事、電気・ガス工事

【内装工事】 洗面・シャワールーム 壁天井クロス仕上げ、床クッションフロア仕上げ

得られた効果

ご利用児童の清潔保持に対する意識の向上及び自立訓練の実施

■シャワールームを活用し、これまで実施できなかった洗身洗髪の実施することができた。

洗髪に抵抗がある児童については、まずは足を洗う練習から取り組みを始めており、清潔保持に対する意識を高め日々を清潔で健康的に過ごすことができるように支援を行うことができている。

■排泄の自立がまだできていない児童に関しては、排泄失敗時等にシャワールームで身体を流すことで、清潔を保ちながら過ごすことができている。

- 今年度の個別支援計画作成のためのアセスメントを保護者様に実施した際、清潔保持に関する支援内容についてのニーズを調査し、自立に向けた支援をご提案することができた。
- シャワールームができたことに興味関心を持ってくれる児童も多く、洗身洗髪の実践を楽しみながら実施することができている。

今後の課題

- シャワールーム及び洗面所を活用し、日常生活に必要な身辺自立(歯みがき・洗顔・髭剃り等)の訓練を実施していく予定。また、衣服の着脱の自立ができていない児童もいるため、併せて練習を行っていく。
- ご家庭の事情等で清潔を保持できない児童に対しての、定期的な洗身洗髪の実践の機会を提供。
現状、ご利用がある際に定期的には実施することはできていないため、他のご利用児童への支援も継続していきながら、特定の児童に対する清潔保持のための支援を強化していけるようにする。



特定非営利活動法人ライフデザイン

<http://palja-okayama.wix.com/palja>

【所在地】 岡山県岡山市

【対象者】 知的障がい者、精神障がい者、発達障がい者

【日常の活動】

■自立訓練(生活訓練)事業

■就労移行支援事業

日常生活・社会生活能力を身につけ、大人になるための知識、人とのかかわり方を学び、大人に成長してから社会に出られるようにします。さらに学びを通じてなりたい自分を探します。

「キッチンの改修工事」

【助成額】 51万円

実施目的

青年期の障がい者が、将来自立した豊かな生活を営むことができるためのプログラムを主体的に楽しく受けられる支援を提供しています。現在の事業所で使用している流し台・作業台は、2、3人用で狭く、仲間と協力して並びながら作業することが困難な状況です。利用者の中には将来1人暮らしをしたいため料理を学びたい者や、調理をする職業に就きたい者もいます。広い流し台・作業台で、利用者が安全に安心して学ぶことができるようしっかりと環境を整えることを目的にしています。

実施内容

環境整備のための物品購入と設置、床上げ

- 利用者が広く、使いやすい流し台・作業台の設置
- 流し台の床を下足ではなく上靴で歩けるよう床上げ

得られた効果

流し台の床を下足ではなく上靴で歩けるよう床上げを行ったことにより、上靴から下足に替える必要がなく衛生的になりました。また、調理の際に広い作業台を利用して仲間と相談しながら調理をしたり、タブレットなどを置いて作り方や作り方の動画を見ながら作業をすることができるようになりました。

包丁など鋭利なものを扱う際も間隔を保って使うことができ、安全面にも考慮しながら使うことができています。

今後の課題

今後、増えると思込まれる利用者に対して、必要と考えられる備品の購入、パソコンの台数を増やすことや多様化する障がいに対応できるような高機能な印刷機・プリンターの購入を検討していきたいと考えております。また、トイレがシャワー付き温便座でないため、衛星面や便座が冷たくて落ちつけない、不快感を感じるなどの問題を解決するためにトイレの改修工事にも必要に迫っています。あらゆる面に資金不足を感じています。



社会福祉法人手むすびルーム

<https://weatherv.com/hand/>

【所在地】 岡山県笠岡市

【対象者】 知的障がい者

【日常の活動】

第2種社会福祉事業

障害福祉サービス事業(就労継続支援B型)

- 一 創作的活動及び生産活動の支援
- 二 利用者へのサービス提供のために開所する土曜日は、創作的活動及び生産活動の支援及び調理習得支援
- 三 各種地域活動行事への参加支援
- 四 施設外就労の提供
- 五 その他必要な支援

利用者からの要望を考慮し、利用者の嗜好に応じた趣味、教養又は娯楽に係る活動の機会を提供するよう努めるものとする。

「トイレの改修工事」

【助成額】 19万円

実施目的

男子トイレが和式であるが、家庭などで洋式トイレが主流なこともあり、和式トイレを使用するのが苦手な利用者(特に若い方や身体的に難しい方)が増えたため、誰もが使用しやすい和式から洋式への改修をするのが目的

実施内容

令和4年9月22日

- ・既存の和式トイレ撤去解体工事
- ・給水移設工事
- ・排水配管移設工事
- ・コンセント新設工事
- ・コンクリート打設

令和4年9月24日

- ・床クッションフロア施工
- ・洋式トイレ設置施工

得られた効果

身体的にも和式の使用が困難だった方にも、使用しやすくなり、安心して利用できるようになりました。現在、家庭や公共の場所でも洋式トイレの設置が多くなっているので、同様に使用できるようになったので、利用者は安心して使用できます。

今後の課題

既存の建物内の作業場では、手狭という理由、また作業の内容によっては衛生面において分けて作業しなければならないが、限られた場所で部屋を共有しなければならないので、増築したいという課題があります。



特定非営利活動法人じゃがいものうち

<http://www.minc.ne.jp/~npo-jaga/>

【所在地】 鹿児島県屋久島町

【対象者】

身体障がい者、知的障がい者、精神障がい者、
発達障がい者

【日常の活動】

■農業 栽培出荷

じゃがいも・ニンニク・ウコン・ガジュツ・小麦・大麦・玉葱・長ネギ・苗物・時節の野菜・椎茸栽培

■食品加工 加工販売

タンカンジュース・麦味噌・豚味噌・塩・野草茶・紅茶・小麦粉・大麦・にんにく醤油・白菜・高菜漬け物・豆腐
木綿豆腐・寄せ豆腐・豆乳・おから

■製品装丁作業・納品・出荷作業 ■塩のごみ取り作業 ■木工作业 カッティングボード・プランター・コースター

■麦わらストロー製作販売 ■喫茶店経営 サロン湯之峯 ■委託事業 公衆トイレの清掃

■地域交流事業

地域小学校と福祉交流 じゃがいもの植え付け・収穫

■タンカンジュース作り ■屋久島町産業祭り出店 ■尾之間温泉祭り出店

「揚げ物加工室の改修工事」

【助成額】 53万円

実施目的

近年急増してきている利用者の様々な障がい種別、多様性豊かな個性に応えられるよう、作業種目の急増が急務です。2020年に設立した工房にて、現在作っている豆腐という素材をさらに揚げる事によって商品の種類が増やせすことだけでなく、揚げ物の新商品の開発にも取り組むことが出来ます。豆腐事業に関わる利用者の作業種目が増え、それは同時に作業の選択肢も増えるということになります。このことにより収益の増収も見込まれ工賃向上に繋がります。

実施内容

計画より遅れまして6月下旬に工事着工となりました。

6月10日 材木搬入 6月13日 アルミサッシ搬入 6月20日 材木プレーナー仕上げ

6月21日 アルミサッシ組み立て 6月24日 壁組み立て 電気工事・ガス・水道工事

6月25日 ケイカル板・キッチンパネル貼り 6月27日 養生テープ貼りコーキング打設。塗装工事

6月29日 清掃片付け

工事期間中豆腐製造も休業して工事の進行を急ぎました。材料のプレーナー仕上げ、資材の準備等別の工場で準備し、現場での作業は出来るだけスムーズに進むようにしました。「にじいろの樹」ストロング班が大工仕事に挑戦致しました。壁下地組み立て、アルミサッシ組み立て取り付け、ケイカル板貼り、とゆっくりのペースでしたが無事完成を迎えることが出来ました。

得られた 効果

工事は設備屋さん電気屋さんとのふれ合いもあり、微笑ましく和やかな作業現場となりました。こうして障がい者への理解が自然と広がってゆくのは嬉しいことでした。

作業に取り組んだ利用者さんも日頃の木工作业と違って大きな材料に取り組んでゆく事が新しい挑戦とそれなりに形が出来てゆく様子を体験したことで、日々の作業に向かう姿勢や自信に繋がって行けたことと思いました。

中古の油揚げ機の清掃も丁寧に細かい細部にわたって出来たことも、私達の為の私達を作る油揚げや厚揚げ、そして新しい商品の開発もここで出来るようになったと新しい作業場の完成を大きな喜びと自信になったことを有り難く思う次第です。

これよりこの揚げ場を活用して商品を製造して売上げを上げて行きたいとそして工賃アップに繋がっていきます。

今後の 課題

屋久島で初めて就労継続支援B型事業所が開設しまして15年が経ちました。あの頃と比べますと利用者の人数も増え事業所も2箇所になり、就労支援の場を求めて島を出ることなく暮らせる用になりました。事業所として増えてくる利用者に充実したサービスを提供し工賃も増やしてゆく事が重要な課題となっています。障がいの種類と多様な個性に応じた作業、工賃を考えて利益率の高い作業の開拓。それぞれの持っている悩みや問題にいかに関わり添い自立を目指してゆくことが大きな課題で目標でもあります。

それと就労支援も生活介護も日中活動へのサービスであり、グループホームや短期入所といったサービスが充分ないので今後は宿泊系の暮らしを含めた生活全体へのサービスを充実することが、安心してこの島で暮らして行く為の大きな課題となっています。

何かと不自由な離島と思われがちですが、大きな自然の豊かさに育まれ心豊かな暮らしを創造するにはこんないい島はありません。小さいからこそ出来る。人と人との交流が、癒してくれる。励ましてくれる。助けさせてもらえる。優しさに包まれた生活をこの島で実現して行きたいと思っております。

この度は貴重な助成をいただきましたこと、心より御礼申し上げます。

是非、この助成を活かして美味しい油揚げや新製品を開発販売をいたしまして工賃も、心もアップさせて行きます。



特定非営利活動法人まいど家

【所在地】 富山県富山市

【対象者】

身体障がい者、知的障がい者、精神障がい者、
発達障がい者

【日常の活動】

就労支援B型事業として、軽作業、ウエス作りや黒にんにく加工販売を、笑顔をたやさずしております。
にんにくは、まだ小さい畑ですが栽培もしはじめました。

「十割そば製麺機購入」

【助成額】 66万円

実施目的

工賃アップを目指して

実施内容

物品購入

十割製麺機（NS-400）

現在行なっている作業内容がうすく、ほぼ利益にならないので
工賃アップを考え十割そばを製麺・販売し工賃アップを目指す。
また、そばの栽培も視野にも入れる、栽培も出来る様になれば、
作業内容も増え楽しく作業が出来る。

利用者の心のゆとりを持ってもらうことで、毎日を過ごして
いってもらえしたいと思います。

得られた効果

まだ試作段階ですが手ごたえを感じています。思っていたより簡単にそばが出来るので、利用者も喜び楽しみながら作っています。出来るだけ早く販売にむすびつけたいと思っています。

今後の課題

簡単にそばが出来るのでみんな楽しんで作ることが出来て本当に良かったです。これを商品化し、工賃アップにつなげます。ゆくゆくはそばの栽培も考え始めました。

また、新しい事業として、本年度よりギャンブル・アルコール・ネット・薬物等、依存回復支援施設を設立したいと思っています。



【所在地】 福井県美浜町

【対象者】

身体障がい者、知的障がい者、精神障がい者、
発達障がい者

【日常の活動】

■就労継続支援B型事業

■生活介護事業

「充填機の購入」

【助成額】 100万円

実施目的

フルーツジャムの製造及びトマトピューレの製造

実施内容

充填機の購入 1台

週3回程度使用

フルーツジャム及びトマトピューレの製造

得られた効果

以前の充填機は古いものだったため、壊れてしまうと修繕の部品がなく修繕は難しいと言われており、事業の継続が危ぶまれていましたが、新しい充填機を購入させて頂いたことで、その心配もなくなり今後も事業の継続が可能になりました。従来のジャム製造と合わせて、地元のトマトを使ったピューレなどの商品も製造できるようになり、既存商品の安定した製造及び新商品の開発にも取り組むことができるようになりました。

今後の課題

福祉の社会資源が決して多くない地域で、障害のある方々の様々な幅広いニーズに応えていくために、環境を整備していくことが課題となっています。

また、今ある事業を安定して続けていくことはもちろんのこと、地元のフルーツや野菜を使った新たな商品の開発を行っていき、利用者さんの仕事の確保及び安定した工賃の確保につなげていきたいと考えております。



特定非営利活動法人キッズウィル

<https://www.kidswill.net/>

【所在地】 長野県大町市

【対象者】 知的障がい児、発達障がい児

【日常の活動】

キッズウィルガーデンは、障害児通所支援事業の放課後等デイサービスと、大町市委託事業の支援対象児等見守り強化事業を提供している複合施設です。

利用者の多くは発達障害児ですが、経済的理由や、親の子育て能力が乏しい、片親で夜遅くまで勤務しなければならないなど、子育て支援が必要な家庭の児童に対しても、平日放課後及び休日の居場所支援や、宿題を中心とした学習支援、入浴・洗濯・食事などの生活支援を行っています。また、経済的理由等で本来少年期に体得すべき経験が失われることのないよう、カヌー教室などの体験学習に力を入れています。

「大型遊具の購入」

【助成額】 100万円

実施目的

子どもたちが思い切り体を使って遊べる環境を整えることを目的としています。

実施内容

キッズウィルガーデンの広場に次の木製大型遊具を設置しました。

- 1 複合遊具ウッドランドスペシャル 1基
(角度付き雲梯、鉄棒、登り棒、丸太登り、吊りボール)
- 2 ウッドマウンテン(ネットタイプ) 1基
- 3 大型木製ブランコ 1基

得られた効果

これまで子どもたちは広場(緑地)でボール遊びや鬼ごっこなどをして遊んでいましたが、遊具が設置されたことにより外遊びの拠点ができました。豊かな発想でさまざまな遊びを生み出し、元気いっぱいに遊んでいます。

思い切り体を使って遊べる環境が整えられたことで、心身の発達が促され、社会性(コミュニケーション能力、規律等)や自己肯定感が獲得できるものと期待しております。

また、遊具を木製としたことで、素材の持つ温かみを感じてもらい、情操教育にも資するものと期待しております。

参考ブログ <https://kidswill.net/blog/2022-06-29-06-23-01.html>



人材の確保が課題となっています。

資金面については健全経営を維持していますが、施設の大規模改修や更新を考えると決して潤沢とは言えず、今回申請させていただいたような助成金を取り入れながら、計画的な施設整備と財政運営をしていく必要があります。

当法人の他の事業所で、狭いスペースを利用して生活支援として野菜づくりを行っている事業所があります。畑が手狭なため、敷地内の古い建物を取り壊し、拡充したいと考えています。

【所在地】 兵庫県神戸市

【対象者】 知的障がい者、精神障がい者、発達障がい者

【日常の活動】

■おしぼり洗濯加工

■乾燥タオル洗濯加工

■靴底加工補助作業

■マット・モップ洗浄加工

「業務用ハンディプリンターの購入」

【助成額】 74万円

実施目的

現在、利用者の技能を高め一般就労へ向けての訓練の為、多様な職種を開拓し安定した仕事を獲得しています。その中で西宮市が指定ごみ袋へと切り替えを行うこととなり、それに伴い指定袋への事業所の記載が必須となりました。この印字について大量にごみ袋を出す施設から印字についての外注の話があり、獲得できれば安定した仕事となります。この何件の獲得のためにも設備としての業務用ハンディプリンターの購入を実施したいと考えています。

実施内容

■株式会社ウィルよりEBS-260業務用ハンディプリンターを購入しました。
どんなものにも印字できるので、様々なものに印字する作業の獲得を目指します。

得られた効果

- きっかけは西宮市の事業用ポリ袋を専用品に切り替えることで施設名を必ず袋に記載しなければならないのを代行できないかという相談から入りました。
- 現在は依頼のあった施設との交渉中です。
- 各工事現場などでも排出元を書かなければならないとのことで、別方面でも販路拡大を目指しています。

今後の課題

- 施設利用が長い利用者の方で、高齢の為思うように今まで実施してきた事業の作業をこなすのが難しくなっている方にもできる作業のため、仕事をゴミ袋以外でも獲得していき、継続して実施できるものにしなければならない。



【所在地】 兵庫県神戸市

【対象者】 身体障がい者、知的障がい者、精神障がい者

【日常の活動】

- 就労支援:弁当製造販売、鞆そば茶袋詰め販売、下請け(歯ブラシキャップ付け、雑貨包装、袋詰め、包装紙折り、パソコンでのインターネット販売の受付、発送)
- レクリエーション活動:法人行事、バーベキュー、ランチバイキング、遠足、お楽しみ茶話会
- 地域ふれあい:弁当配達、授産商品販売会、中・高・大学生実習生受け入れ

「業務用食洗器の購入」

【助成額】 49万円

実施目的

弁当製造作業で食品衛生管理のため、調理器具を高温洗浄する業務用食洗機を使用している。導入して13年が経過し、使用上の劣化による故障の買い替えのための購入。

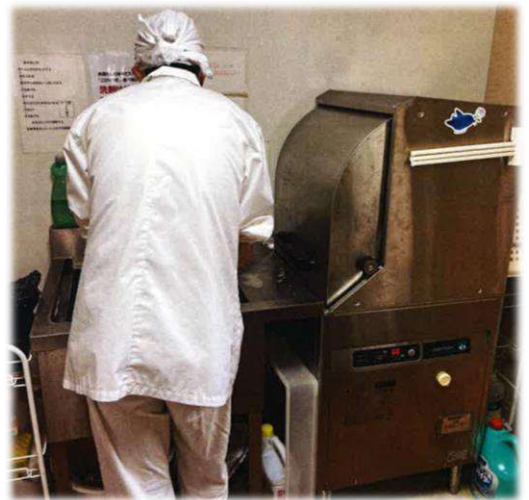
実施内容

業務用食洗器の買い替え購入(JWE-450RUB-L)

障害者の就労支援として、弁当製造・配食を行っており、咲くら工房厨房内で毎日60～100食手作りで弁当製造をしているため、多くの調理器具を使用する。

調理器具の大きなボールや、トレー、包丁、まな板等、油が残りやすく、利用者にすべて手洗いしてもらおうと、洗が残しや、時間がかかりすぎるなどの問題があるが、業務用食洗機を使用することで、高温洗浄でスピーディーに調理器具を洗い上げられ、利用者でも洗いが残しが無いよう作業ができるので、食品衛生管理上、安心安全に作業を進めることができる。

実際の調理に入ることが難しい利用者にも、業務用食洗機を使って洗い物を行い、拭いて片付けるという工程だけでも、作業として任せることができるようになっている。



得られた効果

- 毎日の安心安全な食品衛生管理につながり、弁当製造作業が継続可能となる
- 調理工程だけでなく「洗い場」としての作業工程を利用者に作業提供できる

今後の課題

- 販路を拡大し、工賃のベースアップを目指したい
- 配食と併せて、店頭販売もしていきたい

特定非営利活動法人神戸アイフレンド

<http://eyefriend.wp.xdomain.jp/>

【所在地】 兵庫県神戸市

【対象者】 身体障がい者

【日常の活動】

1. 神戸市からの委託業務

毎週3回、神戸市総合療育センターの「視覚障害児支援教室」において、視覚に障がいのある0歳から学齢までの乳幼児と保護者等を対象に育児相談、発達相談、就園や就学に関する相談事業を行っている。

また月1～2回程度、西部療育センター（垂水区）東部療育センター（東灘区）において視覚に関する相談事業を行っている。

2. それ以外の事業

- ・視覚に障がいのある子ども達とその家族への視覚支援…点字の初期指導などの学習支援を月3～4回
- ・視覚障がい理解と啓発活動…交流会や研修会
- ・「見えない見えにくい」を知るための疑似体験会のイベント活動

「視覚障がい児が安全に楽しく遊べる遊具の購入」

【助成額】 8万円

実施目的

0歳から学齢の視覚障がいの子ども達に対して、からだの大きさに合った遊具で、安心して楽しく遊べる環境を整えること

実施内容

視覚障がい児は、小さいうちからいろいろな遊びを通して体を動かす機会を作ることが大切です。

- ・トランポリンオリジナル(スマートライク アクティビテセンター1 人用)の購入
- ・ロディ(ヒシエス176-8092)の購入
- ・レインボートネル アーチ型(ヒシエス176-8055)の購入

これらの遊具では、ジャンプをしたり四つ這い移動をしながら全身運動を楽しむことができました。

- ・カンタン折りたたみジャングルパーク(アガマツ アンパンマン)の購入
- ・ソフトマット(ピンク ヒシエス176-2637)の購入

ジャングルジムとすべり台のセットなので、高いところに上ったり滑ったり、普段の生活ではあまり体験できない動きを安全に味わうことができました。

- ・フリーダムテーブル1 人用(ヒシエス176-1672)の購入
- ・チェアーコナ1 歳児用(ヒシエス176-1672)の購入

お話を聞いたり手を使った遊びをするために、幼児の体に合ったテーブルや椅子がとても役に立っています。

得られた 効果

貴財団様の助成のおかげで、視覚障がいの乳幼児やその保護者にとって安心して遊べるより遊具と良い環境を提供することができました。

子ども達のからだの大きさに合った遊具での遊びを通して、思い切り体を動かす楽しさをさらに味わう機会を作っていきたいと思っています。

今後の 課題

今回の事業で購入することができた遊具などを活用して、今までほとんど出来なかった子ども達や保護者の交流の機会を増やしていきたいと思っています。

そして、さらに視覚障がい乳幼児とその家族の支援を充実させていきたいと思っています。



特定非営利活動法人フロンティア

<http://www.npo-frontier.com>

【所在地】 兵庫県赤穂市

【対象者】

身体障がい者、知的障がい者、精神障がい者、
発達障がい者

【日常の活動】

- 焼き菓子ラスクの製造販売に、平成23年の創業以来取り組んでいます。現在、赤穂市内のスーパー主婦の店3店舗、パオーネ1店舗。他に、JA兵庫西の直販所「旬彩蔵」6店舗、めぐみの郷9店舗、道の駅あいおいで販売し、好評を頂いております。現在、5名の利用者がラスク作りに従事しています。
- 小型家電、レジ機等の解体分別作業に利用者12名が取り組んでいます。障がいを持つ人にとっては正に「天職」と言える作業です。
- のぼり旗、タペストリー等の梱包作業。6名の利用者が、丁寧な作業で、施主さんからも信頼が高く、利用者も、意気を感じ一所懸命に取り組んでいます。
- 施設外就労に15名が従事。空き缶、ペットボトルの分別、発泡スチロールのインゴット化等に取り組んでいます。
- その他、電気部品の組立、サンプルの袋入れ等に取り組んでいます。

「ラスク用作業台の購入」

【助成額】 24万円

実施目的

衛生的で、作業する利用者に負担が少なく、作業性の高い作業環境を作り、利用者の士気を高め、ラスクの品質、生産性を向上させる。

実施内容

- ラスク作業用ステンレス製机5脚の購入(幅×奥行×高さ)
150cm×60cm×80cm 2脚 120cm×45cm×80cm 1脚
180cm×45cm 1脚 150cm×45cm 1脚

得られた効果

- 作業机の高さを、これまでの70cmから80cmにしたことで、利用者の腰絵の負担が軽減し、作業性が向上。また、衛生的なステンレス製で、見た目にも清潔面で向上する。
- 清潔な作業机で作業する利用者の皆さんの士気が向上しました。

今後の課題

創業時からラスクの製造販売に取り組み、当初6種類のラスクが、現在、14種類に増やし、テコ入れをしてきた。販売店さんの店舗数も大幅に増え、信頼も得られていると確信している。利用者の皆さんも十分にラスク製造に慣れ、工夫も出来るようになった。作業環境が整備されたのを機に、他の焼き菓子製造に取り組んでみたいと考える。

下請け作業、孫請け作業中心の脆弱な基盤に何時までも安住するのではなく。利用者の「やる気」がさらに高まり、収益の上がる事業を見出したい。



【所在地】 兵庫県西脇市

【対象者】

身体障がい者、知的障がい者、精神障がい者、
発達障がい者

【日常の活動】

2021年1月より、日曜日以外の平日で放課後に療育を提供しています。

土・祝や長期休みは一日療育を提供しています。

定員は5名。小・中・高の主に重度心身障害児・医療的ケア児が対象です。

個々の目標に合わせて、医療的ケア・療育等の活動を行っています。

内容としては、ストレッチや軽い運動、スイング、などの運動系。

触覚あそび、音あそび、スヌーズレンなどの感覚あそび系。

その他、制作やリラクゼーション、社会経験、作業療法士の訓練的なことを行っています。

「療育用物品の購入」

【助成額】 39万円

実施目的

放課後等デイサービスへ通う児童に対して、姿勢の安定性を促し、活動へ参加する機会を多く持ってもらうため。
また、スイッチをつかった電動の乗り物を使用し、発達を促し、自己肯定感や楽しみ、他者とのコミュニケーションにつなげるため。

実施内容

- ・シーズクッションチェア Lサイズ 1個 シーズクッションチェア LLサイズ 1個
週に3日程度使用している。安定した姿勢をとり、食事や療育活動などを行っている。活動では、みんなでバーチャル映像を鑑賞することや、メッセージカード作りなどを行っている。
- ・電動移動支援機器 ベビーロコ 1個
発達を促す療育のために、安定した姿勢のなか電動の乗り物のスイッチを使い、活動を行う。
本人の少しの腕や指の動きで、自分で動くという経験を得てもらいます。

得られた効果

クッションチェア

本人の車いすと床で寝る以外の姿勢を取る方法として、クッションチェアを使用しています。

クッション等、複雑なポジショニングをせずとも、誰でも楽な姿勢が取りやすいため、活動に参加できる機会が増えていと思います。床上に座れる他児とも同じ視点で遊ぶこともできました。今までは抱っこでの座位だったので、クッションチェアを使うことで活動の幅は増えています。

また、クッションチェアを揺らしたり、ボール等の上をスライドさせることで、安定したまま刺激を入れることもできています。

ベビーロコ

サイズ変更があったため、クッションチェアをそのまま乗せるとグラグラすることがわかりました。

ベビーロコに台座を作り、そこに乗せて使用する事で安定して座ることができています。

また、車椅子を引っ張るように連結することで、小さい児童以外にも、本人の動きに連動して前進できる、という経験ができています。色々環境調整を行っています。スイッチを足で蹴ったり、親指で押してもらったりと工夫しながら本人に合わせて使用しています。

今後の 課題

初めて自分で動く、という経験をしている児童もありますが、まだまだ自分の体の動きと移動している、という因果関係が分かっていない部分もありますので、経験を重ねて発達を促すという部分にもつなげていけたらと思っています。本人の楽しみ・喜びにもつながればうれしいです。練習した成果を是非保護者の方にも見せれるようにしたいと思っています。

クッションチェアは寝たきりの児童が楽に座って姿勢がとれるので、より手と目を使う活動を増やすなど工夫していきたいと思っています。プロジェクターと組み合わせて川下り体験などは行ってみましたが、楽しそうな反応が引き出せました。今後もいろんなアイデアを出していきたいです。

課題としては、ベビーロコの取り扱いがなかなか難しいところがあり、現在は特定の職員しか扱えません。誰でも使えるように研修を行ったり、環境を整えて利用しやすいようにしていきたいです。

また、ベビーロコでは室内の移動しかできません。将来的には外を動けるものにつなげて、重心の方でも外で自由に動けるような体験ができればうれしいなと考えています。



特定非営利活動法人そよかせねっと

<http://yasuragikoubou.main.jp/>

【所在地】 兵庫県三木市

【対象者】 知的障がい者、精神障がい者、発達障がい者

【日常の活動】

就労に向けた準備訓練(施設内軽作業・施設外委託契約作業)及び居場所として週に5日間(月～金曜日)活動を行っています。

主に平日は事業所内外での作業の提供、レクリエーション活動などを通じた居場所の提供、友人をつくる場、就労に向けた準備として職場体験や実習、求人検索や企業見学・体験実習・面接同行、就職が決まった人に対しては就労後のフォローアップなどを、個々のペースに合わせて個別支援計画に基づき支援を行っています。

また、確定月や日程ではないものの、土曜日開所を開催し、外出やイベント企画などを行い、作業だけでなくリフレッシュして過ごせる時間の提供などにも力を入れています。

「エアコンの購入」

【助成額】 64万円

実施目的

経年劣化で空調が聞きにくくなったエアコンを入れ替えることで、日中活動の環境改善を行うこと。

実施内容

新たなエアコンの購入及び設置

【品名】 ダイキンパッケージエアコン

【型番】 PKZ-ERMP80SKLZ

【数量】 2台

【使用頻度】 月曜日～金曜日 9:00～17:00

【使用内容】 日中の空調管理として、冷房・暖房を気温に合わせて利用

得られた効果

15年ほど利用していたエアコンが経年劣化及びコロナ禍での換気をしながらの空調利用で大きな負担がかかっており、冷房暖房ともに効きが悪い・効果が感じられない状況となっていました。

今回新たなエアコンの導入を行ったところ、まだまだ残暑厳しい時期でしたが設定風量「弱」・設定温度25～26℃(冷房)でとても快適に室内の温度が安定し、息苦しさやうだるような室内の暑さがなくなり、過ごしやすくなりました。

また、静音である事・設定温度を大幅に下げなくても空調を整えることができることから、近年の電気代の高騰が続いている中、光熱費の削減にも大きな効果が今後出てくると考えます。

今後の 課題

現在の課題は、日中活動で得られる工賃収入の増加です。請負の内職作業で得られる単価は極めて低く、また、突発的な納期や反面業績悪化による作業量の縮小などがあり、今後も安定した作業量を維持していけるかは常に不透明です。

今後、自分たちで仕事を生み出し、収益を上げていける事業の立ち上げが取り組みたいことであり、課題であり、機材にしっかりと初期投資を行い、三木市で作られるフルーツや野菜を使い食品製造・販売を行い、利用者・地域へと還元できるようになることが現在の事業所だけでなく法人等しての大きな目標となっています。



【所在地】 兵庫県新温泉町

【対象者】 知的障がい者、精神障がい者、発達障がい者

【日常の活動】

就労継続支援B型事業所を運営、週5日(月～金)・隔週土曜日開所。

受託作業(菓子箱折り、自動車部品の組み立て、食品の袋詰めなど)と施設外就労(行政、特養の洗車、企業での食品作業、企業清掃)へ毎日出かけている。R4年春より、法人パン屋を運営しパンの移動販売を開始する。パン作りには毎日2名の利用者が携わり、パン作りをおこなっている。

「パン製造用オーブンの購入」

【助成額】 90万円

実施目的

就B利用者の工賃アップ

実施内容

R4年末にパンオーブン設置するための室内工事が完成。

R5年1月6日にオーブン設置、16日に発酵機が設置された。

その後、初めての業務用オーブンを使用して試し焼きを繰り返している。その間、利用者には焼き菓子を新しく始めてもらい、週4日(月、火、水、金)焼き菓子に関係機関に販売してもらった。平均30個売れ、1個単価100円で販売。現在までの焼き菓子の売り上げは約2万円。イートインを工事しているため、工事終了の2月からイートインを兼ねたパン屋を再オープン予定。現在は2名の利用者と職員3名で準備を進めている。

得られた効果

以前の家庭用オーブンとは比較にならない位、焼き時間が短縮された上、品質も良くなった。

1回の焼成数の増加が見込める。また発酵機を使用することで、上質のパン生地作りが可能となった。

焼き菓子(マフィン、スノーボール、ビスコッティ)も販売できるようになった。

このことにより、売り上げアップが期待できる。

地域の方々が再オープンを楽しみにしていて下さり、近所のかたが店を覗かれている。

地域の方が集まれる場所にできると思われる。

今後の課題

地域コミュニティを作っていきたい。将来はこども食堂、地域食堂もおこなっていきたい。

課題として後継者不足が挙げられる。



特定非営利活動法人笠岡を元気にする会

<https://kasaoka-genkikai.com/>

【所在地】 岡山県笠岡市

【対象者】 身体障がい者、知的障がい者、発達障がい者

【日常の活動】

■職員、日常業務、日誌、ケース記録など

■利用者の日中活動

週に2回体力づくり

映画鑑賞、音楽など

「プロジェクター式の購入」

【助成額】 36万円

実施目的

利用者の日中活動及び日常業務

実施内容

物品購入

パソコン 1台(NEC Ver sapro)

プロジェクター 1台(エプソン EB_L200W)

コワヨ モバイルスクリーン 1本



■室内での運動、体力向上を目指し、プロジェクターにエクササイズ動画を映し、利用者の皆さんと一緒に体を動かしています。動画を見ながら体を動かす事で、より明確に楽しく活動に参加ができています。

また、プロジェクターでのゲーム・音楽をおこなう事で利用者さんの気持ちの安定につながっています。

■日常業務(日誌・ケース記録など)を行うにあたりパソコンが不足していたので、業務がよりスムーズになった。

得られた効果

■利用者の参加者が増え、より多くの方の体力向上を得る事が出来た。また、活動により楽しく参加する事ができた。

■日常業務が短縮でき利用者へ関わる時間が増えた。

今後の課題

■今後は近隣施設等も合同に活動をおこなったり、映画鑑賞会等も取り組みたい。

【所在地】 岡山県総社市

【対象者】 知的障がい者、精神障がい者

【日常の活動】

当事業所は、生活介護事業と就労継続支援B型事業を同一敷地内で実施しています。

生活介護事業は、ウォーキング、創作活動、作業活動、文化的活動等を通して、ご利用者に有意義な時間を有していただくよう取り組んでいます。就労継続支援B型は、工賃支払いのある作業活動を通して、社会の一員として活躍して頂けるよう取り組んでいます。作業内容は、お餅の製造・販売、市内公園の清掃業務、屋内での委託作業等となります。当事業所の就労継続支援B型では働いて工賃を得る作業をしています。利用者の皆さんは、働くことを通して社会の一員であるという自覚の向上と、各々に潤いのある生活の実現のために頑張っています。そのためにも、たくさんの工賃（給料）を支払っていきたいと考えています。現在、就労継続支援B型の全国の一月の工賃月額（2019年集計）は16,369円です。当事業所ではまだ全国平均に届かず15,550円（2020年）です。工賃向上の為、複数の作業を実施していますが、中でも餅の製造販売は比較的収入を得やすいものとなっています。岡山県北からもち米のブランド品種である「ヒメノモチ」を仕入れ、商品名「ひめのほっぺた」という餅の製造販売を行っています。

「餅つき機の購入」

【助成額】 73万円

実施目的

餅作業の作業効率アップのため

実施内容

就労の活動 餅作業

- ・業務用のクランク式餅つき機を導入。
- ・作業効率の改善と増産
- ・杵で搗くことで旨味やコシ（餅の粘り）のある製造ができ、商品価値の向上が期待できます。

得られた効果

- ・家庭用のもち搗き機、数台により餅の製造を行っていましたが、家庭用では10分程度の時間が掛かりますが、クランク式の導入により1回のもち搗きが6～8分程度で腰のある品質の良い仕上がりとなりました。
- ・餅つきは、こねると搗くでは消費者の方の印象も大きく違うこと、作業では時間短縮と製造力アップに繋がります。
- ・家庭用のもち搗き機では、連続して使用するため故障することが多く部品交換に費用が掛かっていましたが、クランク式は連続使用にも耐えられる丈夫な信頼性の高いもち搗き機です。



餅作業では、今回のクランク式餅つき機のように業務用の機械が増えています。業務用の機械が増えることで、時間短縮と増産に繋げることができます。そうした時間を別の作業や利用者の方の支援に費やすことで、より良い製品作りや、利用者の方とのスムーズな作業が、お互いの力になると考えています。

特定非営利活動法人つばさ

<http://www.tsubasa25.jp/>

【所在地】 山口県柳井市

【対象者】 知的障がい者、精神障がい者

【日常の活動】

通常の事業所に雇用されることが困難な障がいのある方に対し、雇用契約に基づく就労機会の提供、知識及び能力の向上のために必要な訓練を行っています。主な訓練内容として柳井市役所内の食堂はれまる亭での接客、調理業務を通して柳井市の職員や一般のお客様に昼食の販売をしています。

「スチームコンベクションオーブンの購入」

【助成額】 75万円

実施目的

スチームコンベクションオーブンの導入によって作業効率を上げるとともに作業負担を減らすことで、働きやすい環境作りに取り組むため。

実施内容

食堂はれまる亭で調理のために使用するスチームコンベクション購入

今まで使用していたオープンレンジは老朽化が進んでおり、今にも故障するのではないかと言うような状態の中での調理であったため、作業効率が悪くなっておりました。しかし今回スチームコンベクションを購入したことによって作業効率が向上したり、作れるメニューの数も以前より増えました。

得られた効果

スチームコンベクションオーブンの導入によって、今までより調理にかかる時間を短くすることができるため全体的な作業効率の向上につながり、様々な調理方法でオープンを使うことが出来ることにより1食500円で提供している食堂の日替わり定食のメニューの内容に幅が広がりました。また、はれまる亭の食事を以前から食べている方によると、「前よりもお肉やお魚の固さが違う。ふっくらしてよりおいしくなった。」との声が多数あり、スチームコンベクションオーブンを導入してから食事がより美味しいと感じる方が多いように思われます。

今後の課題

現在取り扱っている定番の食堂のメニューだけでなく、調理方法の幅が広がったことによって提供できるメニューを少しずつ増やしていきたいと考えています。また、コロナ禍によって食数の減少が見られているため今後は食数を増加させていき、コロナ禍以前の食数よりもさらに増やしていきたいと考えています。そのためには、はれまる亭の食堂が市役所内にあることから客層が市役所の職員や市役所の来訪者に限られることが多いため、今後は市役所の職員や市役所の来訪者だけではなく、地域に暮らす様々な方々にはれまる亭を知ってもらい、食べに来ていただけるように努力していきたいと思っています。一般の食堂として機能していくのはもちろんですが、食堂の営業

を通じて地域のお客様と利用者さんをはじめとする障害のある方との交流のきっかけになればと考えております。
これからも安くて美味しい食事を提供できるように利用者さんと職員一同力を合わせて日々の調理に取り組んで参りたいと思います。



特定非営利活動法人手と手と手

<https://happy-tetotetote.amebaownd.com/>

【所在地】 香川県高松市

【対象者】 身体障がい者、知的障がい者、発達障がい者

【日常の活動】

平成24年7月 児童デイサービスハンズ

開所し小・中・高校生の発達障害児を放課後委お預かりし 自己スキル獲得の為の療育支援を行う。

平成24年10月 短期入所 ハンズ 開所

平成30年4月 スマイリーハンズ 開所(就労支援継続B 型事業 定員14名 生活介護事業 定員6名)

B型では 箱折り等の内職や農作業を通して就労支援 生活介護 重度障害者に対して排泄・食事等の介護支援を行う。

「療育支援用タブレットの購入」

【助成額】 1 8 万円

実施目的

児童デイサービス ハンズ(放課後等デイサービス)定員15名 小・中・高校生の発達障害児への療育支援を行っています。利用している発達障害児は視覚優位の児童が多く療育支援を行う時に実際の画像や絵を使用して行っています。タブレットを使用しデータを保存したり検索したり効率良くタブレットを使用し療育支援を行う事で発達障害児への自己スキル獲得の為の支援を行って行きたい。

実施内容

発達障害児への療育支援

小・中・高校生の発達障害児への療育支援、文字と絵のマッチングや時計の学習、数の勉強等の療育支援を行っています。

対象児童により療育内容も様々です。対象児へのモニタリングを行い課題設定を行いデータをタブレットに残し使用する事が出来ます。

又、デイサービスで過ごす中でその場面で対象児童に伝えたい場面でタブレットを使用し画像や絵等を使用し療育支援を行います。

重度の自閉症児で発語が無く意思表示が難しい場合が多くみられます。タブレットを通して「行いたい」「行わない」「嬉しい」等の感情表現を行う様に支援し重度障害者の意思決定支援に繋げて行きます。

実施日 月曜～木曜 土曜、日曜・週6回

場所 児童デイサービス ハンズ 食堂 機能訓練室

対象 1日15名(小・中・高校生の発達障害児)

時間 平日 14時30分～17時30分

土日・長期休み 9時30分～16時30分 支援者 児童指導員及びサービス管理責任者

得られた効果

タブレットを使用し実際の映像や写真等を提示する事で以前に比べて内容が分かりやすくイメージが付きやすくなっています。以前は指示や内容を把握するのに時間がかかっていた児童が映像を見る事で短時間で内容を把握する事が出来療育支援の時間のスピードアップやスキル獲得に繋がっています。

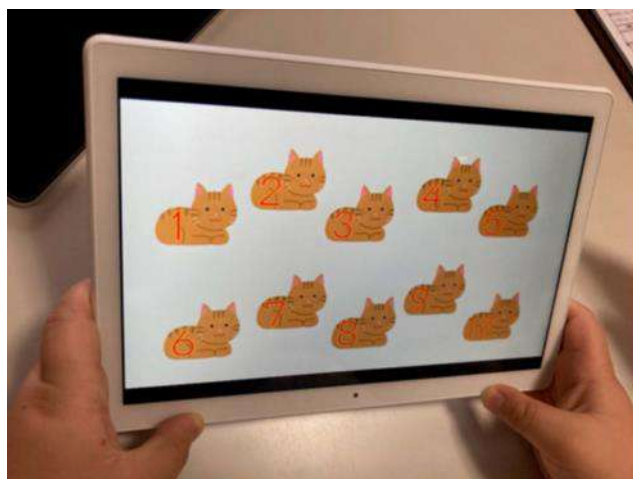
又、支援者側も今まで準備にかかっていた時間の短縮に繋がっています。

又、発達障害児自身もタブレットを操作する事で操作方法を身に着けたり自分の意思や感情を声等以外の方法により表出する事が出来、意思表出が出来る回数が増え本人の自立に繋がっています。

今後の課題

現在、タブレットを操作し療育を行っています。今後、様々な障害を持った児童が児童デイサービスを利用します。本人の障害特性の把握が今後大切になってきます。

やみくもにタブレットを使用するのではなく本児の状態把握に重点を置き状態を把握した上でタブレットを操作しての療育支援に繋げて行きたいので支援者側の発達障害児の障害特性の勉強会等を重ねて行き障害児支援に寄与して行きたい。



【所在地】 大分県国東市

【対象者】 身体障がい者、知的障がい者、精神障がい者

【日常の活動】

○就労継続支援B型事業 ○生活介護事業 ○共同生活援助事業 ○相談支援事業
○地域生活支援センター事業

「卓上真空ガス包装機の購入」

【助成額】 66万円

実施目的

卓上真空ガス包装機を購入し、活用することで農産加工品やその材料の消費期限を1年程、延長することができるため、在庫を臨機応変に持ち、売上を上げ、ご利用者の工賃を上げることが目的。

実施内容

◇物品購入

卓上真空ガス包装機を1台購入し、今後、10月～12月に桑の葉・菊芋を収穫し、スライス・粉砕したものを真空ガス包装し、在庫を確保していく予定。びわの葉に関しても、適時、収穫し、粉砕し、在庫を確保。5月～6月には、びわのドライフルーツの商品開発し、この機械を活用し、消費期限を長くも持つ。



得られた効果

卓上真空ガス包装機を利用することにより、年に2回しか収穫できない桑の葉などの農産加工品の原料を長期保存することが可能になり、在庫管理が容易にできるようになった。また、加工品や菓子製品などを個別に真空包装することにより、商品自体の賞味期限の延長なども可能と思われるため、今後、実施していきたい。



今後の課題

利用者減少・低工賃が課題。就労継続支援B型事業に関しては、定員30名を下回っている。これまで、手厚い支援を売りに利用者に来ていただいていたが、地域の同事業所などには、高工賃の事業所などもあり、違う事業所に流れていってしまう方も多くなっている。そのため、今後は利用者に寄り添った手厚い支援を続け、加えて、農産加工品の販売などで、高工賃を達成していく必要がある。

社会福祉法人あいの実

<https://www.ainomi.com/>

【所在地】 宮城県仙台市

【対象者】 重症心身障がい児者

【日常の活動】

あいの実ブルーベリーがいよいよ4月にスタートしました。同じ敷地内では、あいの実ストロベリー（医療型ショートステイ・あいの実クリニック）も始まりました。ブルーベリーでは、生活介護事業や児童発達支援・放課後等デイサービスが展開されます。これまでのあいの実ラズベリー・クランベリー同様、医療的ケアが必要な方を含め、重症心身障がい児・者の支援を行います。医療ケア、情緒と感性を育み表情を引き出す本の読み聞かせや玩具を利用した遊びなどの療育、スイッチ類を活用した意思の疎通の向上、そしてご家族の皆さんからも喜ばれている入浴サービスも日常的に実施します。今回、助成していただいた送迎車を使つての学校や各家庭との送迎もあります。とはいえ、ただ単に介護すると言うだけではなく、ご利用者様とその家族に寄り添った居場所作り、生きがいを提供していきたいと思っています。この4月には間に合いませんでしたが、同じ敷地内には、医ケア児ママのカフェを建てたいと頑張っています。ママたちの就労支援活動、働きたいのにあきらめていたママたちに、就労の機会と笑顔を取り戻してもらいたいと思います。クラウドファンディングを活用して、現実に向けて動いています。

「福祉車両の購入」

【助成額】 200万円

実施目的

あいの実ブルーベリーご利用の重症心身障がい児・者の送迎

実施内容

トヨタ ハイエースバン GL Dタイプ

3月10日に納車されました。注文当初、車両不足のため、納車時期が延期される可能性も示唆されましたが、4月のあいの実ブルーベリー開所に間に合いました。3月中は試運転的にあいの実ラズベリーの生活介護にて使用してみました。この生活介護が4月以降ラズベリーからブルーベリーに移転しました。

生活介護は月曜日から金曜日までの毎日、利用されていますので、その送迎に活用されました。朝、自宅までのお迎えと帰りにお送りする1日2回が主な利用状況です。片道約10kmのコースが主流です。仙台市内泉区を中心に、青葉区、宮城野区と走行しています。4月からもブルーベリーにおいて、月曜日から金曜日までの毎日、片道10km程度を朝、夕、送迎しています。ご利用者様お一人の送迎の時もありますが、多いときには4名満員でお乗せることもあります。これからもフル活用していきたいと思っています。

得られた効果

医療的ケア児・者を含め重症心身障がい児・者の支援に、弾みがついた。この4月より新事業所がオープンしました。いよいよ生活介護事業がラズベリーから移転してブルーベリーにて開始されます。ご利用者様の定員も15名となります。そして、ラズベリーに加えて、ブルーベリーにおいても、放課後等デイサービス・児童発達支援のサービス

が行われます。なかなか居場所が少ない重症心身障がい児・者にとって心地よさを感じていただきたいと思っています。もちろん今回も入浴サービス付です。心も体も温まっていただきます。また、ご家族の人生再構築にも寄り添い、ノーマライゼーションを目指します。さらに、少しでもご家族の負担を軽減したいと思っています。今回、送迎車を助成していただきましたが、まさに送迎サービスを行うことによって、ご家族にゆとりが生まれ、休息や笑顔をとり戻せます。そのことのお手伝いができるスタッフも喜んで支援できます。まさに、こうしたことは今後のあいの実の計画・ビジョンに弾みがつきます。

今後の課題

障がい者家族の生きがい・福祉医療における働き方の再構築の実現

ご家族の笑顔を妨げる課題の解決、安心して生活ができる人生設計を考案できる事業を目指しています。

職員に関しても多様な働き方と職業人としての能力開発を目指します。業務の効率化のためのデジタル化の推進や制度だけでは解決できない社会問題にIT技術を駆使しながら社会の意識を変えていきたいと思っています。まずはご家族に就労の機会にあずかっていただきたく、ブルーベリーと同じ敷地にカフェをオープンします。このように障がい児・者と家族が単に生きるだけでなく「生きがい」と「生きやすさ」をもち、それぞれ社会に孤立して過ごすことがないようパートナーのように寄り添っていききたいと思っています。そのための土台や基盤作りをしっかりと行っていくことが私たちの課題と感じています。



【所在地】 宮城県気仙沼市

【対象者】

身体障がい者、知的障がい者、精神障がい者、
発達障がい者

【日常の活動】

障害福祉サービス事業

■就労移行支援事業

■就労定着支援事業

■相談支援事業

■自立訓練(生活訓練)

「企業実習や職場定着支援のための車両購入」

【助成額】 1 2 4 万円

実施目的

企業見学や企業実習、採用面接時の合理的配慮により、
支援員の同行同席を許可する企業も増えたことや、
就職後の障害者の悩みや職場からの相談、要望に
早急に対応するため社用車の必要性が高まってきた。



実施内容

車両(三菱 EK スペースM)の購入

通所訓練・自宅訪問・ハローワークでの職業相談、企業実習・見学・採用面接同行

通院・役所への提出書類。就職後の企業訪問・緊急時対応等の送迎や同行

* ほぼ、毎日利用者さんを1人～3名を乗せ、施設外活動や企業実習先、ハローワークでの相談の同行に購入した軽自動車を使っています。

利用者さんが帰宅した4時以降は職員が役所や企業訪問等の外勤に使っています。

得られた効果

業務専用車を導入したことにより、送迎や同行等、様々な支援に対応可能になり利用者さんも企業側にも信用や安心につながっております。自動ブレーキ等安全性の向上により安心して利用者さんを送迎できており、昨今の燃料高騰に対し、低燃費性能のためガソリン代が節約できると考え、任意保険はドラレコプランを契約しました。今まで以上に職員の安全運転意識が高まっていることを実感しています。

今後の課題

今年10月から自立訓練事業所(生活訓練)開始しております。定員6名の少人数で、通所訓練や通院訓練等、家族の負担軽減しながら日常生活技術の維持、向上を目的に支援をします。公共交通機関の利用に自信がつくまで自宅からの送迎を考えていますので、ますます助成いただいた社用車を活用していきたいと思います。

特定非営利活動法人てのひら

<https://tenohira2010.jimdofree.com/>

【所在地】 愛知県豊橋市

【対象者】 身体障がい者

【日常の活動】

・就労継続支援B型事業 事業所名:陸(りく)

(内容)現在6社の企業様より下請け作業を受注いただいております。様々な種類の作業があり、利用者の適正にあったものを作業として提供いたしております。それ以外にも視覚障害者の残存機能を活かしたテープ起こし作業も行っており、市内大学を中心として定期的に受注いただいております。差し当たって令和4年10月29日(土)にも以前からお付き合いのある団体様より受注いただき、これから作業に取り組んでいくところでもあります。

・障害者の社会活動を促進する事業 事業名「豊橋市視覚障害者歩行訓練事業」

(内容)豊橋市委託事業であり、市内在住の視覚障害者(身体障害者手帳【視覚】1・2級)に対し歩行訓練士を派遣し、視覚障害者が希望する場所の白杖を使用した歩行の訓練を行っています。

「車両の購入」

【助成額】 141万円

実施目的

- ・利用者送迎時使用車両の整備
- ・現在使用している車両の劣化

実施内容

利用者送迎車両整備

当事業所は視覚障害者が利用者の主であるためDoor to Doorの送迎が必須となっています。

申請時より増加致しました利用者の対応にも車両を整備することができ、以前まで職員車両を拝借し使用していましたが、今回助成をいただき車両を整備させていただき、職員の車両を借りることはなくなり、法人所有の車両でのみ送迎を行うことが可能となりました。

また、事業所下請け作業の納品に於いても活用予定であり、法人車両に余裕をもち納品が可能となりました。

(購入車両)日産 クリッパー

(車両使用頻度)送迎…毎日 迎え(AM8:30頃からAM9:30)／送り(PM3:30頃からPM5:00頃)

納品及び作業物搬入…AM10:00からPM3:00頃までの間(一週間に3～4回程度搬出入)

(車両使用用途)○利用者送迎(登録利用者38名)【令和4年10月31日現在】／平均利用者数(21名／日)

○作業物搬出入(受注企業者数:6社)

今回助成いただき整備致しました車両は下請け企業様の中でも食品封入箱の搬出入に活用させていただく予定であります。他の企業様の製品はゴム・金属と車内が汚れてしまうもので区分けし、活用させていただく予定であります。

得られた効果

利用者の増加また、作業量の増加、またそれに伴う作業搬出入量の増加があり、以前は利用者数に対し送迎車両が足りない時があり、職員所有の車両を拝借し、活用させていただいた時もありました。

助成車両が整備されたことにより、以降職員の車両を使用することなく送迎及び作業物の搬出入がスムーズに行えています。

今後の課題

【事業所としての課題と展望】

①利用者の高齢化

②現事業所のゆとりのない環境を申請時において団体の課題として記載させていただきました。

利用者数増加に伴い現事業所の面積では「視覚障害者」の利用者に対し移動の際危険が発生してしまっています。来年度事業所移転を計画しており広い環境下での事業運営を行う予定ですが、尚環境整備に費用が発生する懸念があります。

【法人としての課題と展望】

当法人は視覚障害者を主とした就労継続支援B型事業を運営いたしておりますが、市内においては視覚障害者を利用者の主とした事業所運営を行っている事業所は他にはなく、未だ自宅に引き籠ってしまい、悶々とした日々を過ごされている視覚障害者は多くいると想定できます。そうした、特に途中で視覚にハンデキャップを背負った方々に対し、相談支援事業を展開し、福祉サービスの初めの一歩となれるよう事業展開していく予定であります。



特定非営利活動法人さまさま

<http://www.interq.or.jp/asia/samasama/>

【所在地】 京都府京都市

【対象者】 精神障がい者

【日常の活動】

市民の皆さまからの不活用品のご寄付物品を販売しています。100円～300円ぐらいの物が中心です。1日平均売上は2万円です。商品が売れると違う商品が陳列されることもあり、1日に何度も来店される常連のお客様がおります。ご寄付で頂いた着物を活用したオリジナルの小物類の制作にも取り組んでいます。不活用品を通した市民の皆さまとの交流が利用者の皆さんの回復や生きがいに寄与しています。

「車両の購入」

【助成額】 160万円

実施目的

ご寄付物品の受け取りや、出店販売の移動など、毎日使用している車両が経年劣化し、今年は何とか車検が通りましたが、次回はかなり難しいとの評価を自動車店から頂き、購入を検討するものです。

実施内容

スズキ エブリィワゴンの購入

旧車両と同じく、ご寄付物品の受け取りや、
出店販売の移動など、毎日安心して使用しています。

得られた効果

故障の恐れがある車両から、その心配のない新車両に変わったことで、安心して利用者さんをのせて各種業務をこなせています。

今後の課題

商店街にある倉庫を、各種助成金を活用して店舗に改修しています。地域の皆さまを始め、ポストコロナ後の観光客の皆さまにも足を運んでもらえるお店を来年度開店したいと準備しています。車両も十二分に活用させていただきます。

過大なサービスで利用者を集める営利法人に、安定通所できる利用希望者が集まりがちな状況が続き、事業所運営報酬は運営維持ラインを割ってきていますが、利用者ご本人の健康維持に必要な分だけの利用を基本とするとところは保持して、ご本人のモチベーションが高まった時に即応できるようなスタッフの育成・体制作りが課題です。



一般社団法人子ども発達支援会

<https://lupinus6.wixsite.com/houkagodei-lupinus>

【所在地】 京都府京都市

【対象者】 発達障がい者

【日常の活動】

- ・放課後等デイサービスの事業展開。小1から高3までの就学中の障がい児に対して、放課後安全で安心できる居場所を提供する。
- ・当事業所に通所している子供たちの困りを把握し、困りの付き合い方、向き合い方を一緒に学ぶ。（支援計画の作成、面談等）
- ・特技や持っている個性を伸ばすための活動や新しくできることを活動を通して見つける。（工作、ブロック遊び、ボードゲーム、ペーパークラフト等）
- ・運動機能に障害がある子たちも通所しているので、公園などにもいき、体幹を鍛えたり、体力をつけられるような運動や遊びを行う。
- ・公園などでの集団活動を通してコミュニケーション能力を育てたり、人とのかかわりを持つ。（鬼ごっこ、ボール遊び、カードゲーム等）
- ・昼食作りやおやつ作りを通して偏食のある子が多いので、食への興味関心を持つために自分たちで準備からする。自分で作ったものは普段食べないものでも作ってみたら実際食べてくれる子が多い。

「送迎車両購入」

【助成額】 200万円

実施目的

送迎用車両

実施内容

利用者の日々の送迎

- ・車両購入（車両名）ノア（使用頻度）週6
（どのように使用しているか）平日は各小学校へのお迎え、自宅への送り、土曜祝日は各自宅への送迎

得られた効果

- ・車両購入に伴い送迎に使用。
- ・新車購入により安全な装備装置が付き、安全安心な送迎は可能になった。

今後の課題

放課後等デイサービスを取り巻く法整備の改正に伴う弊社のスタッフを含めたインフラの整備。
今回の木口財団様からの助成でインフラ問題の一部が改善されました。ありがとうございます。



社会福祉法人しあわせネットワーク

<http://www.shiawase-net.jp>

【所在地】 京都府福知山市

【対象者】 身体障がい者、知的障がい者、精神障がい者

【日常の活動】

就労継続支援B型事業所として下記2つの班に分かれて活動

○リサイクル班

- ・缶、PETボトル、紙類(段ボール・新聞・雑誌・他)、廃食用油などの回収
- ・不法投棄防止パトロール(市内辺境地道路周辺のゴミの回収と監視)
- ・長安寺公園憩いの家(市施設)の管理(主に掃除、草刈り)

○食品製造班

- ・菓子の製造・販売
- ・弁当の製造・販売

「軽トラックの購入」

【助成額】 95万円

実施目的

走行距離が20万キロを超え使用に不安が出てきた軽トラックを更新することによって作業環境を改善し、作業に対する満足度を高めていただくとともに、燃料費・修理費等経費の削減にもつなげる。

実施内容

軽トラック(ダイハツ:ハイゼット)

○不法投棄防止パトロール(福知山市からの委託)／隔週で週2回(年間54回)

福知山市の3地域(旧夜久野町・大江町・三和町)のパトロール(1回120～150km程度)を実施。

具体的には、道路沿いに投げ捨てられた缶・PETボトル・弁当ガラ・家庭ゴミ等のゴミを回収する。

小動物の死体を回収することもある。

冷蔵庫、家具など2人では回収できない大型の投棄物を見つけた場合は市の環境パークに報告する。

○リサイクル活動／毎週月・水・金曜日

施設に近い拠点を回り、缶、PETボトル、段ボール・新聞紙・雑誌等紙類を回収する。

得られた効果

待望の新車導入により利用者様のテンションが上がった。前車に比べ室内が広く静かで快適になりこの車を使ったパトロール活動の順番を心待ちにしていだけるようになった。

幌付きのトラックにしたことで雨の日も苦労することなく紙類の回収ができるようになった。

今後、燃料費・修理費等の経済的な効果も期待している。

今後の 課題

コロナ禍やロシア侵攻の影響で資源のリサイクルが見直されていることもあり、回収拠点を新たに開拓し、回収量を増やし工賃向上につなげていきたい。



【所在地】 大阪府泉大津市

【対象者】

身体障がい者、知的障がい者、発達障がい者、
精神障がい者

【日常の活動】

障害福祉サービスの居宅介護では、障がい者から障がい児の方の身体介護を中心に支援します。重度訪問介護は、重度の障がい者に対して、その方の必要なサービスを行います。移動支援は、障がい種別にかかわらず移動等が困難な方に対して移動的な支援を提供します。実施地域は和泉市、泉大津市、高石市、岸和田市、忠岡町、貝塚市、堺市、豊中市です。当事業所は、24時間体制であり、緊急的な支援も行っています。

「車両の購入」

【助成額】 110万円

実施目的

障がいをお持ちの利用者に対して、その方が必要なサービスを24時間対応する。

実施内容

車両名NBOXを支援サービスに毎日利用する。
毎日、ご利用者様のご自宅にお伺いし、必要なサービスを迅速に行う。
また車両を使用することで、遠方の利用者宅に訪問する機会を増やす。
また、複数の利用者に対応するときや、一人の利用者を複数で支援するときに車両を使用することで円滑なサービスを行う。

得られた効果

移動困難な障がい者の方に対して車両を使用することで円滑な移動をすることができた。
車両を使用することで、遠方の利用者様に対しても介護等の支援が行えた。
また、車両を使用することで、職員2名での支援が行えた。

今後の課題

市町村、障がい者団体、社会福祉協議会、ボランティア団体、地域住民等が地域で暮らす障がい者が、今まで以上に暮らしやすい地域を構築するため、今よりさらに連携を深めることが必要。それぞれが持つ機能に応じて分担しながら連携する必要がある。



株式会社いっぽ

<http://ippo-kobe.com>

【所在地】 兵庫県神戸市

【対象者】 身体障がい者、知的障がい者、精神障がい者

【日常の活動】

■飲食店の清掃業務 ■不動産屋のチラシ封書入れ ■チラシ配り ■粗品作成
■絵具や画材の検品・ケース入れ・倉庫へ納品作業 ■マクラメ編み商品の販売会参加(月1回)

「車両の購入」

【助成額】 86万円

実施目的

徒歩圏内の清掃場所減少。掃除道具の運搬・清掃場所までの送迎・通所の方送迎を社用車で個人負担無く業務を進める事が出来るようにする為。

実施内容

決定通知書を8月中旬に頂き、再度「カープラザ関西(株)」へ見積書と同等車両を探して頂く。

注文書を頂き、同等の車両を確保。以前乗っていた車の持ち主へ連絡をしましたが、旧車両はいらないとの事なので、下取りをしてもらいました。

2022年9月6日に全額支払いして、

翌日9月7日納車となりました。

車両名

トヨタ シエンタ

使用頻度

毎日使用させて頂いてます。

どのように使用しているのか

利用者さんの送迎・清掃業務の送迎・内職納品・受取時。

段ボールを再利用工場への運搬等。



得られた効果

旧車両とは同車種なので、車幅等気にせずに運転できている。燃費も10km/1Lと良くなり、経費節減となっております。スライドドアやハンドルが軽くなり送迎の際、ストレス軽減となりました。

清掃業務の際、屋根にゴミの袋や掃除道具を載せて移動でき、2人乗車できるスペースを確保できております。清掃作業の割当人数が十分となり、焦る事なく作業出来るようになりました。

標準装備でナビがついておりますので、内職納品場所がわかりやすくなりました。

カーステレオ搭載で清掃業務へ行く時のモチベーションアップで曲が聞けるようになりました。



今後の 課題

今までお断りしていた、公園掃除活動や地域活動に社用車で荷物を運んだりして貢献していきたい。
当社の授産製品の開発を進めて障がい者の活動販売会に自主的に参加していく事。
引きこもりがちな利用者さんを出来るだけ、送迎して通所できるようにしてあげる事。
内職作業をする机がガタガタなので、日曜大工できれいにし、使いやすい様にする事。

社会福祉法人ひびき福社会

<http://hibiki-hukushi.com/>

【所在地】 兵庫県姫路市

【対象者】 身体障がい者、知的障がい者、精神障がい者

【日常の活動】

利用者の方々の就労活動を支援や生活相談、社会活動への参加を応援しています。

主な活動内容としては

喫茶店の運営、お菓子の製造、販売活動。自然食品の取り寄せ、販売、配達。

内職などの請負作業。

ハンドメイド商品の製造、販売。などの活動の支援を行っています。

その他、余暇活動を定期的に行っています。

「車両の購入」

【助成額】 114万円

実施目的

車両が無い事で利用者の方の送迎や就労支援事業の中での業務に支障をきたし、利用者の方のニーズに応える事が出来ないため、車両の助成を受ける事で送迎、業務に役立て快適に使って頂く。

実施内容

◇車両購入

ホンダ N-VAN

・使用頻度は毎日

・利用者の送迎車両で使用。利用者に搭乗してもらい、複数人の送迎を行う。

就労支援事業でパンやお菓子などの雑貨類の販売時の移動や、商品の配達業務、内職請負時の納品等に使用する。

余暇活動などで外出する際、利用者の方に搭乗し目的地まで移動する。

地域貢献のための催しやイベントなどの際に物資などの運搬を行う。

得られた効果

今まで送迎に行っていた利用者の方々をお待たせする事が無くなり、安全に充分配慮した、スムーズな送迎を行う事が出来ている。

その他、就労支援事業の中での荷物の運搬や販売に使用する事で作業の幅が広がり、様々な利用者の方々に作業に取り組んで頂ける機会を提供できている。又、車両を軽のバンにし貨物部分が腰より低く床面がフラットになるタイプを選んだため、運搬の際に軽度の身体の障害がある方でも荷物の積み下ろしの負担が減っており、利用者の方の身体的な疲労も減った。

今後の 課題

就労事業において利用者の方にお支払いする工賃の確保をしていかなければならないが、コロナ後の影響で比較的には収まってきたが、販路や作業の機会が減ってしまい、減収に繋がってくるため、新規で利用者の方に取り組んで頂ける仕事を模索しなければなりません。そのために場所や備品、人員など様々なものが必要になってくるため、現在の状況を上手く活用しながら展開をしていく事が課題です。



特定非営利活動法人来楽輪

【所在地】 兵庫県姫路市

【対象者】 知的障がい者、精神障がい者、発達障がい者

【日常の活動】

就労継続支援B型

◆生活支援、自立支援、相談・援助等行っている。個別支援計画に基づきサービスを提供している。

◆日中活動として軽作業を行っている。

- ・タイトの箱折り、組み立て
- ・自動車部品の組み立て
- ・コネクター部品の取り付け、チューブ通し
- ・テープ貼り作業
- ・文房具の封入作業 等

「車両の購入」

【助成額】 188万円

実施目的

車両購入で利用者の仕事・工賃共に充実させる

実施内容

車両名 トヨタタウンエースバン

使用頻度 週2～3回（搬入頻度で変動有り）

使用用途

- ・現在数種類の作業を行っており、車の部品組み立て作業、タイトの箱組み立て作業等作業の搬入等に使用している。
- ・行事等参加する利用者の送迎等に利用する予定。

得られた効果

作業量を増やすことができ、工賃アップに繋がる。以前は軽自動車だったが、バンを購入することができ、一度に沢山作業を積む事ができるようになり、作業量を増やすことができたのが大きな成果である。

作業量を増やせたことで、納品頻度を減らすことが出来き、職員が手薄となる事態を減らすことが出来る。そうすることで、作業効率を上げ、工賃アップが期待できる。また一度に沢山積む事ができるので、今まで搬入が難しかった作業も出来るようになり、作業の幅が広がることが期待できる。

バザー、研修会等に利用者の方の送迎に利用している。

今後の課題

車両を購入できたので、今後も作業量を増やし、作業の幅を広げ、工賃アップできるよう取り組んでいきたい。そして現在定員割れしているので、工賃アップを強めとし、利用者数を増やせるよう取り組んでいきたい。その為に、作業効率等をアップさせ、利用者支援においても、職員の資質向上、スキルアップに努めてきたい。



社会福祉法人みのり

<https://minor-ako.jimdo.com>

【所在地】 兵庫県赤穂市

【対象者】 知的障がい者、精神障がい者

【日常の活動】

製菓の自主製品の製造・販売及び西播磨・東備地域の企業からの受託受注業務を通じて、障がい者の就労の機会や生産活動その他の機会を提供しています。また、敷地内で喫茶店「MOMO」を営業し、その食材の一部は敷地内の畑で栽培したものを利用するなど、障がい者の就労機会と地域の方々との交流促進に取り組んでいます。さらに、地域の農家との農福連携事業にも取り組んでいます。

「車両の購入」

【助成額】 102万円

実施目的

経年劣化による故障のため、軽自動車の買い替えを行う

実施内容

- ①予定通り、申し込み案件の軽自動車（ダイハツハイゼットカーゴ＜5ドア CVT 2WD 660cc ホワイト＞が2022年11月25日の午前に納車されました。
- ②11月25日に保険の切り替えも済ませ、当日から新車両を利用しています。受託作業の資材の搬入及び製品の納入、公園のトイレ清掃などの施設外就労時の利用者の送迎、イベント参加時の必要資材の運搬、連携機関への訪問等の業務遂行で、毎日使用しています。

得られた効果

- ①受託作業の資材の搬入及び製品の納入において、たつの市や姫路市や備前市等の遠方への配達も安心してできるとともに、1回の運搬量も増加し、業務の効率化が図られています。
- ②新車で故障する心配がなくなったことにより、他の保有車両を効率的かつ機動的に使用することが可能となりました。
- ③燃費も向上し、燃料費削減が期待できます。

今後の課題

農家との連携を拡大強化して、就労継続支援B型事業としての農福連携事業を積極的に展開し、「地域の貢献者」としての障がい者の向社会的役割をアピールしていきたいと考えています。本事業の実施によって、効率的に商品の運搬を行うことや、連携機関への訪問をこれまで以上に積極的に行うことができます。



【所在地】 兵庫県丹波市

【対象者】 身体障がい者、知的障がい者、精神障がい者

【日常の活動】

丹波の豊かな風土を生かし、また様々な地域課題の解決を目指して、農福食連携をプログラムの中心に据え一般就労を支援している。地域の農家さんと連携し安心安全な米、野菜、丹波黒大豆などを栽培。フレンチの巨匠黒岩功氏監修のメニューへ加工し6次化を図っている。また、加工調理した製品は、黒岩氏（ル・クログループ）とのコラボにより運営しているキッチントレーラー『am×clos kitchen（アムクロキッチン）』で各種イベントに出店、販売している。

また、丹波三宝の1つ、丹波黒大豆枝豆の栽培では毎年オーナー制を実施。以下の目的で継続している。

- ①キャスト（利用者）の経験値アップ⇒自己肯定感の高揚
- ②丹波の魅力発信と丹波ファン獲得・都市部と農村部を繋ぐ⇒地域課題の解決
- ③マチ・ヒト・モノ・コト・トキを繋ぐ⇒ユニバーサルの価値を拡める。（みんながちがいを認め合い、生かし合って存分に生きられる彩り豊かな社会の実現）

これらの活動を通じ、就職はもちろん、キャスト1人1人の自己実現に向けOnly oneのキャストにOnly oneのプログラムを提供すべく取り組んでいる。

「車両の購入」

【助成額】 200万円

実施目的

車両購入により、送迎や移動を人的にも物的にも、効率よく円滑に行いたい。それにより、関係者に安心を提供することができると共にスタッフの負担軽減や作業の効率アップによる工賃アップ、QOLのアップをめざしたい。

実施内容

車両購入

車 両 名：トヨタ ノア（Xグレード）8人乗り

利用頻度：送迎等に、ほぼ毎日利用。

利用内容：送迎、圃場への移動。農具の運搬。

研修への参加に伴う移動

（スタッフ、キャスト共に）



得られた効果

- ・送迎に関する不安がなくなった。利用者や家族の安心につながっている。
- ・送迎時間の短縮により、スタッフの負担軽減が実現した。酷暑の中、待たせつつ、順次送迎し、何往復も…ということが今夏はなくなった。送迎コースを増やして同時に動くこともできた。

- ・畑などへ移動する際、急ぎの時は、社用車が足りず、個人の車で代用していた。もしもの時のことを考えると、安心とは言えない状況であった。現在は安心してみんなで移動できるようになった。
- ・きれいな新車で移動する。…過酷な作業後も、新車で空調もしっかりと効いている中、体を休めながら快適に移動。胸を張って誇らしげに帰所。キャストもスタッフも、心身ともに健康で頑張れる環境を整えることができた。
- ・ドアの開閉、乗降時のマナーや乗車時の席の決め方や譲り方、使用後の清掃や維持管理などについて、SST（ソーシャルスキルトレーニング）として指導する機会を持つことができた。
- ・一同、感謝の気持ちいっぱい活用させていただいている。

今後の課題

農福食の連携で育てたこだわりの野菜や作物。新鮮なことはもちろん、安心安全で味も格別であるが、地元の販売所では、収穫時期が重なり、他の商品と同等に扱われ、値下げ競争に巻き込まれてしまうのが悲しい。除草剤を使わず、手で除草したり、施肥も一株一株の様子を見ながら手作業で行ったりするほか、加工機がないために手ですべての出荷作業をするなどしているが、そのキャストの頑張りに見合う工賃が出せない。流した汗に見合う工賃を払い、自己効力感を高め、内面から湧き上がるエネルギーを感じることができるよう活動にしたいのだが、難しい。農業は土づくりから販売まで、たくさんの工程と作業がある。さまざまな個性を持ったキャストの中には対人関係が苦手な人も多く、大空の下、人との距離も遠く「瞑想してるみたいで楽です」という人もいるほど。農業で食べていけたら無理に就職しなくてもな…と思うが、実際には、この収入では実現が難しい。彼らの選択肢の1つに十分な収入が確保できる農業を用意できれば、少子高齢化による後継者不足や耕作放棄地問題など地域の課題も一緒に解決できるのに…と強く思う。

販売ルートの開拓には頭を痛めている。もっと有効な販路はないものか。6次化を含め、今後の大きな課題である。効率よく移動できるようになり、作業の効率アップも図れるようになったので、その先がますます重要になっている。模索したい。

一般社団法人サードプレイス今井

<https://www.thirdplace-imai.com/>

【所在地】 奈良県橿原市

【対象者】 身体障がい者、知的障がい者、精神障がい者

【日常の活動】

事業所「コミュニティ&ブックカフェ今井文庫」を運営してます。

カフェ(店内)におけるすべての業務、ブックライブラリーの運営、本の管理、カフェ内でのお客様への対応の他、地域の物産、お土産品、近隣福祉事業所の生産品の販売を行っています。また、手作り品として、お土産品の製作、フェルトボール等のアクセサリーの製作を生産活動として実施しています。

「車両の購入」

【助成額】 1 4 3 万円

実施目的

私たちの事業所は主に高次脳機能障がいの方が利用されており、身体的なマヒがあり、歩行等が十分には難しいため、最寄りの駅、または自宅までの送迎が必要となっています。いままで、1台を送迎に当てていましたが、今後、利用者の増加、個別な送迎が見込まれるため、本助成によって、新規購入し、より必要なサービスに取り組みたい。

実施内容

納車後、当助成事業において購入したスぺーシア(白)を送迎サービスに導入した。

午前8時45分～送迎開始

午後4時～送迎開始

現在、5名の方の送迎を実施しています。

送迎車が2台ありますが、スぺーシア(オレンジ)が最寄り駅の大和八木駅を起点に2名を送迎し、スぺーシア(白)は、八木駅金利の2地区の利用者さんの自宅、および自宅近辺で待機されている利用者さんを送迎しています。

また、利用者さんの体調変化にあたり、スぺーシア(白)で送るなど午前午後の送迎サービスに利用しています。

送迎時間や場所など、利用者さんの環境に合わせて、また、当事業所は、重要伝統的建造物群保存地区という地域ないにあり、道幅が狭く、対抗する場所が少ない。利用者さんの安全を確保し、送迎に努めています。

得られた効果

利用者の障がいの状態や体調により、事業所に通所する上で課題が多い。できるだけ利用者個々のニーズに合わせて、より利用者に応じた方策で送迎サービスを実施し、なかなか出にくいといった環境、状況を改善し、就労の機会、場を提供することができる。また新たな利用者の利用につなげていきたい。

今後も当助成により購入した送迎車を利用し、きめの細かい対応を実施していきたいと思います。

今後の 課題

今回の送迎車の購入により、今後、新規の利用者も増やしていきたいと考えています。現在、8 名の利用者数で、8 名で行う生産活動もある程度、できることに限界があります。利用者の増加により、グループ化し、多様なメニューの生産活動を増やしていきたいと思います。もう少し、事業的に地域の生産物など、事業が地域に繋がっていくものを検討していきたいと思います。特に当事業所がある今井町は、重要伝統的建造物群保存地区ということもあり、観光客も近年（コロナの影響を受けつつも）、増加してきています。今後、観光という分野で、利用者さんとともにできる活動や取り組みを考えていきたいと思っています。



特定非営利活動法人すまいるネットワーク

【所在地】 岡山県笠岡市

【対象者】 重症心身障がい児

【日常の活動】

「すまいるパートナーズ」重度訪問介護・居宅介護事業 年中無休24時間対応の医ケア対応のヘルパー事業

対象者:重症心身障害児者

重心型多機能事業所「重度障害支援センターすまいるハウス」(生活介護・児童発達支援)

笠岡市神島に井笠地域(岡山県南西部)初の重心専門の通所事業所

対象者:重症心身障害児者 定員:5名

重心型多機能事業所「重度障害支援センターすまいるキッズ」(放課後等デイサービス・児童発達支援・生活介護)

対象者:重症心身障害児者 定員:5名 R5年3月1日開設予定

「福祉車両の購入」

【助成額】 200万円

実施目的

医ケアにも対応できる重度障害児者の専門の事業所として、令和5年3月開設予定の重度障害支援センターすまいるキッズを利用する重心児に必要な送迎サービスを充実させ、広範囲な地域から利用できるようにし、重心児の自立生活向上のための支援を行うと共に、保護者の負担軽減に繋がる事を目的とする。

実施内容

車両名:日産NV350キャラバン

使用頻度予定:毎週月曜日～土曜日

使用用途予定:

令和5年3月開設予定「重度障害支援センターすまいるキッズ」で重症心身障害児者の送迎に使用



得られた効果

車いす用福祉車両を整備する事によって、井笠地域の重症心身障害児者の自宅又は支援学校からの送迎が可能になり、送迎サービスが無いと利用できない重心児が利用し易くなり、笠岡地域の医ケア等の必要なより多くの重心就学及び未就学児、重心者がサービスを利用でき、活動の場を得られ自立生活の向上及び保護者の負担軽減に繋がる事が期待できる。

今後の課題

今後は、当事業所と送迎サービスの周知を図り、井笠地域の重症心身障害児者が支援を受けられるようにしたい。また、障害児者の親が口をそろえて言う不安な事は、「親亡き後」の事であり、親亡き後も重度障害者が住み慣れた地域で自分らしく生きられるよう重度障害者グループホームとショートステイ事業も行いたいと考えている。

【所在地】 岡山県総社市

【対象者】 身体障がい者、知的障がい者、精神障がい者

【日常の活動】

- ①農業:ミニトマトを柱として季節の野菜の栽培(地元で販売)
- ②加工:割れや規格に合わない等で出荷できない野菜を加工(地元で販売)
- ③弁当:②で使用するような野菜を使つての弁当作り(市役所で販売)
- ④軽作業:マスクの縫製、自動車部品・医療部品等の組立
- ⑤施設外就労:自動車部品の向上での請負や清掃業務

「車両の購入」

【助成額】 99万円

実施目的

利用者の送迎や農業で使用している古い車両が頻繁に故障し修理代がかさんだり、燃費が非常に悪いという問題を解消するため。

実施内容

- ①車両名:エブリィ(スズキ)
- ②使用頻度:週5～6日
- ③使用方法:
 - 利用者の送迎
 - 農業資材の運搬
 - 畑と畑の間の移動(圃場が点々とあるため)

得られた効果

- ①燃費の向上 ②運転の安全性 ③故障の不安解消
- ④職員・利用者のモチベーションの向上

今後の課題

- ①農業における資材の高騰による利益率の低下。
 - 化成肥料等に頼りすぎず、安価で安全な有機肥料等にシフトする。
- ②下請け作業に頼りすぎ、コロナのような非常事態に仕事が無くなるというリスク。
 - 自社商品の開発、グリーンファーム独自の仕事を生む。



特定非営利活動法人じゅ〜く

<https://9397695069.amebaownd.com/>

【所在地】 岡山県西栗倉村

【対象者】 知的障がい者、精神障がい者、発達障がい者

【日常の活動】

プラスワークでは事業所内で行う内職作業と、近隣の企業等に出向いて行う施設外就労を行っている。事業所内で行う内職作業は付箋や木工製品のパッキングに取り組んでいる。作業工程を単純化したり、個々に合った環境整備や治具の開発をしたりすることで作業効率を上げて生産活動に取り組んでいる。より就労に近い形態の施設外就労では、ものづくりをしている企業に出向きジビエ食品の生産やウナギ養殖に係る濾過マットの清掃等に携わっている。その他、西栗倉村から委託を受けて公共施設の清掃に取り組む。

「車両の購入」

【助成額】 200万円

実施目的

プラスワークがある西栗倉村内には公共交通機関等が不足しており、特に障害者や高齢者が交通弱者となり自力でプラスワークへ通所することが困難となっている。そのためプラスワークをはじめその他の事業所でも日々送迎を実施している。2022年10月にプラスワークを就労継続支援B型と生活介護との多機能型に変更し利用する障がい者の枠を広げるにあたり、利用者数が増加し送迎範囲が拡大し更に送迎車の増車が必要となる。しかし現在プラスワークで使用している送迎用の車両は、中古で購入した車両で年式がH23年、走行距離が16万kmと老朽化している。定期的に検査を受けており故障が少ない車両ではあるが、利用者の安心・安全を守るためには新たな車両の購入が必要な状況にある。よって、今回の助成を受けることで新たな車両を購入する。

実施内容

車両名:シエンタ 使用頻度:月曜～土曜の朝と夕

プラスワークの営業日である毎週月曜～金曜と第2第4土曜、朝の迎えが8:15～9:00夕方の送りが16:15～17:00それぞれ平均利用者数8人の送迎を2台の車両で実施しておりそのうち1台に使用する。車両は法人で所持、管理し、運転手はプラスワーク職員が務める。

得られた効果

- ①新たな車両は運転手を含め6人乗りのため、利用者5人を乗せることができる。それにより、利用者数の増加や送迎範囲の拡大に対応するための体制ができる。
- ②利用者へ安心・安全な送迎を日々提供できる。

今後の 課題

2022年度に予定していたプラスワークの就労継続支援B型から就労継続支援B 型と生活介護の多機能型への変更は、新型コロナの影響から利用者及び事業所の状況の変化により延期することとなった。しかし、依然と多機能型へ変更する必要性があるため変更に向けて再度計画を立て実行していきたい。



【所在地】 香川県高松市

【対象者】 身体障がい者、知的障がい者、精神障がい者

【日常の活動】

障害福祉サービス事業所ええる

多機能型（就労継続支援B型・生活介護）

- ・就労継続支援B型（定員12名）

内職作業中心（お土産のお菓子の箱折り、和菓子ケースのシール貼り、しめ縄飾り、乾燥剤入れの箱折り、フェイスマスクの袋入れ、ピンセットの袋入れ、手提げポリバックのタック付け、DM封入作業）

- ・生活介護（定員8名）

排泄、食事等の介助、創作活動、レクリエーション、散歩、機能訓練、アロママッサージ 等

<行事> 調理実習、外出行事、外食行事（月1回）

※新型コロナウイルス感染予防のため外出行事は休止中。外食行事はテイクアウトで実施
お花見、秋祭り、クリスマス会、鏡開き、節分行事（年1回）

「車両の購入」

【助成額】 128万円

実施目的

就労継続支援B型での商品の納品・引取と、利用者様の送迎で使用している軽箱バンが初年度登録から17年となり、走行距離は23万キロを過ぎていました。今後の維持費の負担や湖沼の増加、安全性への不安も出てきたため助成をお願いいたしました。

実施内容

車両（軽貨物車）の購入

車両名：ダイハツ ハイゼットカーゴ（型式 S700V）

利用頻度：就労継続支援B型での商品の引取、納品に週5回程度、送迎で週2日程度

使用方法：B型での商品の引取、納品

- ・乾燥剤入れの箱折り作業の納品、引取（週1回）
- ・お菓子の箱折り作業の納品、引取（週1～2回）
- ・フェイスマスクの袋入れ、ピンセットの袋入れ作業の納品、引取（2週に1回程度）
- ・手提げバッグのタック取付作業、DM等の封入作業の納品、引取（週1～2回程度）

送迎

- ・丸亀市方面等への送迎に週2日程度
- ・来年度より利用者定員を増やす予定があり、来年度から送迎での試用可数が増える予定（週4～5日）

現在は新型コロナウイルス感染予防のため行えていない外出行事を来年度以降、様子を見ながら再開予定のため、それらの行事でも使用の予定

得られた 効果

貴財団の助成により整備できた車両は、以前に使用していた車両より荷室空間が広く、一度に納品できる商品の数が増えました。また、床がフラットになっているため商品に傷が入る恐れも無くなります。

また、衝突回避支援などの安全装備が充実しているため安全に走行ができ、アイドリングストップ機能などにより以前の車両より燃費も向上しました。

利用者様の送迎では、折り畳むことのできない電動車椅子をそのまま荷台に乗せることができました。それにより電動車椅子を荷台に乗せられたことで、乗車スペースを確保でき、乗車定員上限まで乗車できるようになり、効率的な送迎が可能となりました。

今後の 課題

特別支援学校の生徒や新たに事業所を探している方の多くが見学や実習に来てくださっています。

今後、定員を増やしていく予定がありますが、そのためには送迎の車両を揃える事、作業や日中活動を増やしていくことが課題となります。以前の車両より多くの荷物が積めるため新たな作業も開拓していきたいと思います。ハイゼットを整備できたことで、それらの課題の解消に近づけると思います。

当事業所は今年の5月に移転をいたしました。新しい町での地域活動にも力を入れていき、地域の方々との交流を深めたいと考えています。



社会福祉法人共生の里

<https://kyouseinosato.or.jp>

【所在地】 福岡県行橋市

【対象者】

身体障がい者、知的障がい者、精神障がい者、
発達障がい者

【日常の活動】

■共同生活援助(短期入所併設型)■

- ・グループホーム共生の里は、行橋市、苅田町、みやこ町に5か所のホームと5か所のサテライトホームを運営し、現在定員が64名です。また、定員2名の短期入所共生の里も併設しています。
- ・住居と食事の提供、金銭管理、服薬、外出支援、受診同行や相談援助、必要な介護、看護の提供を行い、利用者様のそれぞれの生活(自分の生き方、夢、希望)を尊重した支援を行っています。
- ・当事業所は、2021年に行橋市の地域生活支援拠点事業を受託し、緊急時の受け入れと、地域の社会資源の連携体制の構築等を行う機能を担っています。

「福祉車両の購入」

【助成額】 100万円

実施目的

グループホーム共生の里と併設の短期入所共生の里では、併せて66名の利用者様の外出支援や、精神科・内科・整形外科等、様々な病院への受診同行、サテライトホームへの訪問支援に毎日ホームの送迎用車両を使用しています。これまで4つのホームで7台の軽自動車を、ホーム間で融通しながら使用していましたが、受診が重なり利用者様の送迎をお待たせする事が多く、また歩行困難な方がおられる中で、車いすごと乗り込める福祉車両は1台も無く、車いすから車内への移乗介助が大変な状況が続けていました。2022年(令和4年)10月に、重度身体障がいを持たれた方を受け入れることのできる、グループホーム共生の里 春風ホームを開設し、グループホーム共生の里と短期入所共生の里の全体の定員数も51名から66名に増え、ますます福祉車両の導入が必要な状況になってきました。

この状況の改善の為に、福祉車両の購入への助成を申し込みました。

実施内容

ダイハツ タント(軽自動車)福祉車両スローパーの購入

狭い道や駐車場でも運転しやすく、また、利用者様が車いすごと乗車できる福祉車両を購入し、利用者様の外出支援や受診同行、併設の短期入所の送迎に毎日使用しています。

社会福祉法人 共生の里 法人ホームページで、公益財団法人 木口福祉財団様より福祉車両の購入に助成を頂いた事を公表する。

<https://kyouseinosato.or.jp/information/info-group-home/202301251001.html>

得られた 効果

車いすや歩行困難な利用者様を待たせる事なく送迎でき、車いすごと乗り込める為、車両への移乗介助等で利用者様を抱える職員の腰への負担も無くなりました。

利用者様が職員や他利用者に気兼ねする事なく外出希望を言い出せるようになり、歩行困難な方だけでなく、体調不良の利用者様の緊急受診の際にも車いすに乘坐、福祉車両で受診同行できるため、安全に介助を行う事ができるようになりました。

今後の 課題

住まいと生きがい探すと、居場所の確保の支援の充実を目指して、2003年にグループホーム共生の里を開設し、これまで運営して来ましたが、未だに利用相談が途切れる事がなく、また、長く居られる利用者様も高齢化し、介護ホームへ移行される方も増えてきました。

住み慣れた地域を離れる事なく、生活を続けられる環境を提供できるよう、バリアフリーの施設や支援体制を整えていく必要があります。

昨年10月に重度身体障がいを持たれた方を受け入れることのできるグループホーム共生の里 春風ホームを開設し、新たな利用者様を受け入れ、支援を行う職員も、対応の幅を広げられるよう研修を受けたり、人材育成、環境整備に日々取り組んでおります。

ただ、法人単独の力だけでは限界があり、地域と、ご協力下さる関係機関のお力を借りて、問題を解決しながら事業継続する事が永続的な課題となっております。



特定非営利活動法人熊本福祉会

【所在地】 熊本県熊本市

【対象者】 身体障がい者、知的障がい者、精神障がい者

【日常の活動】

主に農業法人や個人農家さんなどと委託契約を結び、農作業での施設外就労を行っている。
また、自社農園での野菜の栽培、各販路先への出荷などを行っている。

「農作業用トラックの購入」

【助成額】 198万円

実施目的

自社農園での野菜の栽培を増加しており、販路も拡大してきている現状である。それに伴い農作物や農機具の運搬が必須不可欠となってくる。また、収穫量を増加させ、たくさんの農作物を運搬させることができるようになれば、今以上の販路拡大につながっていく。そのことにより、利用者への工賃賃金アップも見込まれ、仕事へのやる気、やりがいなどを感じていただける事へと繋がっていく。

トラックの購入により、自社農園を素晴らしい畑へと作り上げ、障害者の活力となっていくことを目的としている。

実施内容

◇車両購入

- ・車両名 ニッサン アトラス
- ・使用頻度 週に2～3日程度
- ・どのように使用しているのか

自社農園で収穫した収穫物の運搬軽トラックなどに乗り切らない、農機具(トラクター、管理機等)を各自社の畑へと運搬している。



得られた効果

- ・自社農園での収穫物を一度に運搬出来る量が増え、販路先の拡大や出荷量の増加にも繋がり、自社農園での売り上げの増加に繋がった。
- ・各自社農園への農機具(トラクター、管理機等)の運搬が出来るようになったため、作業効率のアップに繋がり、畑の活用範囲が広がったため、各自社農園を野菜の時期ごとに有効活用することが出来るようになった。

今後の 課題

トラックの購入により野菜の収穫量が増えたことに伴い、廃棄する野菜も増加している現状があるため、今後は、形の悪い野菜や販売後売れ残ってしまった野菜等の廃棄してしまうお野菜などの 6 次産業化も視野に入れ、加工の部分が今後の課題となっている。



特定非営利活動法人阿蘇きぼうの家

<http://aso-kibou.net>

【所在地】 熊本県阿蘇市

【対象者】

身体障がい者、知的障がい者、精神障がい者、
発達障がい者

【日常の活動】

地域活動支援センターⅢ型「阿蘇きぼうの家」事業

就労継続支援B型「阿蘇きぼうの家」事業

「利用者の送迎や余暇活動の為に車両購入」

【助成額】 200万円

実施目的

送迎車購入により仲間たちの安心・安全な利用、利用者の増加、余暇活動の充実、スタッフ業務の軽減を図ることを目的とする。

実施内容

- 就労継続B型、地域活動支援センター利用者の毎日の送迎
- 施設外就労送迎
- 社会適応訓練、余暇活動利用の為
- 授産商品（ポン菓子・野菜・惣菜等）配達・販売
- 各病院通院支援
- 家庭訪問 等の活動の為に車両を購入。



得られた効果

- 送迎車の台数が足りない事で、利用日数を制限されていた方々の利用日数を増やすことが出来た
- 8人乗りが増えたことで、送迎に回れる範囲が広がり、スタッフの負担が軽減された
- 車両が増えたことで、分かれて行っていた社会適応訓練も皆で行くことが出来るようになった
- 車両が増えたことで、スタッフの車を借りることが無くなった

今後の課題

利用者も家族も高齢となり、今後の生活が課題となる。住み慣れた地域で障がい者も健常者も高齢者も子どもも、ともに安心・安全に暮らしていけるような地域づくりが必要。そのためにも、障がい者の理解が広まるよう啓発活動を行っていくことが大切である。年金と工賃で一人暮らしが出来るように、授産商品の開発・販路拡大を行っていかなければならない

特定非営利活動法人うつ予防の会・だんだん

<https://muydandan.wixsite.com/dandan>

【所在地】 宮崎県宮崎市

【対象者】 知的障がい者、精神障がい者

【日常の活動】

就労継続支援B型及び生活訓練の事業を運営

当事業所では、睡眠・生活リズムを大切にした障害福祉サービス事業を行っています。

「静かで穏やかな利用者さんの居場所です」をモットーとしています。

生活訓練事業では、日常生活がより良く過ごせるよう、生活リズムを整え社会生活が安定するようにと、事業所で対応できるもの（休憩をとる・考え方の支援）をしています。

利用者さんの多くが送迎を利用され、訓練の方はほぼ個室で訓練を行っています。

また就労継続支援B型では、休息をとりながら作業をしていただいています。

工賃の作業としては、以前は、事業所でのランチの提供と、外部委託の内職を中心に作業を行っていましたが、現在は弁当の盛り付け、弁当箱の洗い物が中心となっています。お弁当は、給食の内容と同じものを提供することで、工賃の収入を上げているところです。

以前は、自動車内職をたくさん取り扱っていましたが、最近は内職については最小限の取り扱いにしてもらっています。今では事業所での食の大切さをそのままに、地域の方との関りをもちつつ弁当事業を展開しているところで、さらに受注も増加しています。

「車両の購入」

【助成額】 200万円

実施目的

- 利用者の送迎、自宅訪問支援。
- 弁当の配達・回収事業。
- 利用者の社会的接触の場を作り、社会参加の機会を広げる。
- その他、地域の方によりよい食事を届け、その中で高齢者の見守りを行う。

実施内容

車両名 :アクア(トヨタ)

使用頻度:毎週月曜日～土曜日(日曜日・祝日・年末年始除く)

得られた効果

以前使用していた車両は、型の古い 少し大きめのガソリン車で、燃費が悪く排気ガスが多いのも悩ましい状況でした。当法人や事業所としては、本来地球環境を大切にしていこうという方針がありながらも、その方針とはかけ離れた状況の車で排気ガスをまき散らしながらの送迎・弁当の配達となっていました。他にも古い自動車では、小回りが利かないため勝手の悪さもあり、特に60代の職員にとっては、安全性に不安を抱えながらの運転となっていました。

しかしこの度助成をいただき、ハイブリットの車を購入させてもらったことで、送迎や弁当配達回収で、利用者・職員ともにそれ以前のような疲労感がなく、複数回の送迎や弁当の配達回収が楽になりました。さらには燃費の向上や安全性が高まったことで配送担当者もゆとりが生まれ、気持ちの方も大変楽になりました。

お弁当の配送事業は、利用者さんの工賃向上のためという面もありますが、当事業所の理念のひとつである「食」の重要性を伝える活動として、また地域の見守りの面として重要な取り組みと考えています。地域の方に健康的なお弁当をお届けしていこうとする場合も、今では狭い路地なども小回り良く配送でき、以前のような疲労感を残しませんので、今後も配送先を増やせるようになってきています。

このことは、工賃の向上にもつながっていて、嬉しい限りです。

今後の課題

今後、弁当事業は、更なる利用拡大が予想されます。

現在行っている昼食配達事業に加え夕食の製造配達のご希望があり、希望をされている方の期待を少しでも支えていきたいと考えています。当事業所の利用者さんについても、夕食は即席麺のみで済まされる方がおられるなど、弁当配達という事業は今後一層増大する予想をしていますので、職員の増員も必要になってくることとなります。

現在、事業所の職員の60代以上が6割を占める中ですので、事業継承の準備を行いながら、職員の増員や若い人材の導入が必要になっています。



2022 年度 選 考 委 員

選考委員長

中田 智恵海

特定非営利活動法人ひょうごセルフヘルプ支援センター 代表

高橋 守雄

全国災害ボランティア支援機構 代表

福田 好宏

元 社会福祉法人兵庫県社会福祉事業団 理事長・会長

松端 信茂

一般社団法人兵庫県知的障害者施設協会 会長



公益財団法人木口福祉財団

〒659-0051 兵庫県芦屋市呉川町14番10号

TEL 0797-21-5150

FAX 0797-35-4500

e-mail josei@kiguchi.or.jp URL <http://www.kiguchi.or.jp>

2024年1月発行